

審議事項

件名・議案	提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	根拠規定 等
I 審議事項					
1. 委員会関係					
提案1	(幹事会附置委員会) 広報委員会 (1)分科会委員の決定 (新規1件、追加1件)	会長	B(5)	広報委員会における分科会委員を決定する必要があるため	菱田副会長 内規第12条、第18条
提案2	(幹事会附置委員会) 地方学術会議委員会 (1)委員会委員の決定(追加1件)	会長	B(6)	地方学術会議委員会委員の追加を決定する必要があるため。	望月副会長 内規12条2項
提案3	(機能別委員会) (1)科学者委員会運営要綱の一部改正 (分科会等の設置1件) (2)委員会等委員の決定(新規3件、追加3件)	(1)科学者委員会委員長(2)会長	B(7-12)	科学者委員会における分科会等の設置に伴い、運営要綱の一部を改正するとともに、委員会等における委員を決定する必要があるため。	望月副会長 (1)会則第27条第1項 (2)内規第18条
提案4	(機能別委員会) 国際委員会分科会委員の決定(新規3件)	会長	B(13-15)	国際委員会分科会委員を決定する必要があるため。	高村副会長 内規第18条
提案5	(分野別委員会合同分科会) (1)第一部合同分科会を設置すること(新規設置1件) (2)第一部合同分科会委員の決定(新規3件) (3)第二部合同分科会委員の決定(追加1件) (4)第三部合同分科会委員の決定(新規1件)	第一部長 第二部長 第三部長	B(17-21)	第一部総合ジェンダー分科会を設置するとともに、第一部国際協力分科会、第一部人文・社会科学基礎データ分科会、第一部総合ジェンダー分科会、第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会、第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会における分科会委員を決定する必要があるため。	第一部長 第二部長 第三部長 (1)会則第27条1項、第79回幹事会決定「部が直接統括する分野別委員会合同分科会について」 (3)内規第12条第1項

提案6	(分野別委員会) (1)運営要綱の一部改正(新規設置22件、委員構成の変更4件、設置期限の変更7件) (2)委員会及び分科会委員の決定(新規77件、追加39件) (3)小委員会委員の決定(新規12件)	(1)心理学・教育学委員会委員長、法学委員会委員長、政治学委員会委員長、基礎生物学委員会委員長、統合生物学委員会委員長、農学委員会委員長、食料科学委員会委員長、基礎医学委員会委員長、臨床医学委員会委員長、薬学委員会委員長、環境学委員会委員長、数理科学委員会委員長、地球惑星科学委員会委員長、情報学委員会委員長、総合工学委員会委員長 (2)各部部长	B(23-142)	分科会の設置等に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、分野別委員会における委員等を決定する必要があるため。	会長 各部部长	(1)会則27条1項 (2)内規第12条第1項および18条
提案7	(課題別委員会)自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会 (1)設置について (2)設置要綱の決定 (3)委員の決定(新規1件)	(1)(2)副会長 (3)会長	B(143-149)	日本学術会議会則第十六条の課題別委員会として提案した委員会の設置を決定し、これに伴い、設置要綱の決定等を行う必要があるため。	菱田副会長	内規 (1)(2)第11条 (3)第12条第2項
提案8	(若手アカデミー) (1)分科会の設置(新規設置7件) (2)委員の決定(新規7件)	若手アカデミー代表	B(151-161)	若手アカデミー分科会を新規設置し、委員を決定する必要があるため。	望月副会長	若手アカデミー運営要綱

2. 地区会議関係

提案9	地区会議構成員の所属地区の変更を決定すること	科学者委員会委員長	B(163-164)	地区会議構成員から勤務地等の所在する地区会議以外の地区会議への所属変更の申出があったため。	望月副会長	地区会議運営要綱第5
-----	------------------------	-----------	------------	---	-------	------------

3. 国際関係

提案10	令和2年度代表派遣について、追加、変更及び派遣者を決定すること	会長	B(165-166)	令和2年度代表派遣について、追加、変更及び派遣者を決定する必要があるため。	高村副会長	国際交流事業に関する内規第19条2項、21条2項
------	---------------------------------	----	------------	---------------------------------------	-------	--------------------------

4. 学術フォーラム及び土日祝日に講堂を使用するシンポジウム等

提案11	「新たな地球観への挑戦—地球惑星科学の国際学術組織の活動と日本の貢献—」	地球惑星科学委員会委員長	B(167-170)	主催：日本学術会議 日時：令和3年2月15日(月) 13:00-17:30 場所：日本学術会議講堂(オンライン配信あり) ※第三部承認	-	内規別表第1
------	--------------------------------------	--------------	------------	---	---	--------

5. その他のシンポジウム等

提案12	公開シンポジウム 「メディア学の使命」の開催について	社会学委員会委員長	B(171)	主 催：日本学術会議社会学委員会 共 催：社会学系コンソーシアム 日 時：令和3年1月23日（土）13：30～16：30 場 所：オンライン開催 ※第一部承認	内規別表第1
提案13	公開シンポジウム 「胎児期からの脳発達：発達保育実践政策学の追究」の開催について	心理学・教育学委員会委員長	B(172-173)	主催：日本学術会議心理学・教育学委員会 共催：東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター 日時：令和3年2月8日（月）14：00～16：00 場所：オンライン開催 ※第一部承認	内規別表第1

6. 後援

提案13	国内会議の後援をすること	会長	—	以下の会議について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。 ①2020年度全国公正研究推進会議 主催：一般財団法人公正研究推進協会 期間：令和3年2月19日（金） 場所：Web会議形式 申請者：一般財団法人公正研究推進協会 理事長 浅島誠 ※科学者委員会承認 ②第30回国際MICEエキスポ(IME2021) 主催：一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー、日本政府観光局 期間：令和3年2月24日（水）～26日（金） 場所：オンラインによる開催 参加予定者数：約400名以上 申請者：一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー会長 猪口邦子 ※国際委員会承認	後援名義使用承認基準3(2)ウ
------	--------------	----	---	---	-----------------

II その他

	件名	資料(頁)
1.	今後の総会及び幹事会開催予定 年度内の幹事会/来年4月総会日程につきご確認ください。次回幹事会は1月28日(木)13時30分開催。	C(1)

【幹事会附置委員会】

提案 1

○委員の決定（新規 1 件）

（広報委員会国内外情報発信強化分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
日比谷 潤子	学校法人聖心女子学院 常務理事	第一部会員
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授	第二部会員
神田 玲子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構高度被ばくセンター 副センター長	第二部会員
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科教授	第三部会員
三枝 信子	国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター センター長	第三部会員
岸村 顕広	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・九州大学分子システム科学センター准教授	連携会員
谷内江 望	東京大学先端科学技術研究センター合成生物学分野客員准教授	連携会員

○委員の決定（追加 1 件）

（広報委員会「学術の動向」編集分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
岩井 紀子	日本版総合的社会調査共同研究拠点大阪商業大学 JGSS 研究センター センター長	第一部会員
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究員	連携会員

【幹事会附置委員会】

○委員の決定（追加1件）

（地方学術会議委員会）

氏名	所属・職名	備考
岸村 顕広	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・ 九州大学分子システム科学センター准教授	若手アカデミー会員 連携会員

○科学者委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前																																
<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。分科会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会の設置について幹事会に提案する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分科会</th> <th style="width: 35%;">調査審議事項</th> <th style="width: 20%;">構成</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画分科会</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>アンケート検討小分科会</td> <td> 1. 全国の大学・研究機関・学協会等に対する男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援・学協会連携等に関するアンケートの分析 2. 男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援等の課題に関する研究者向けアンケート調査の分析 3. アンケート調査結果のまとめと提言としての公表に係る審議に関すること </td> <td>15名以内の会員又は連携会員</td> <td>設置期間:令和2年12月24日～令和5年9月30日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(略)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	分科会	調査審議事項	構成	備考	男女共同参画分科会	(略)	(略)	(略)	アンケート検討小分科会	1. 全国の大学・研究機関・学協会等に対する男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援・学協会連携等に関するアンケートの分析 2. 男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援等の課題に関する研究者向けアンケート調査の分析 3. アンケート調査結果のまとめと提言としての公表に係る審議に関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:令和2年12月24日～令和5年9月30日		(略)			<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。分科会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会の設置について幹事会に提案する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分科会</th> <th style="width: 35%;">調査審議事項</th> <th style="width: 20%;">構成</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画分科会</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(新規設置)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	分科会	調査審議事項	構成	備考	男女共同参画分科会	(略)	(略)	(略)	(新規設置)					(略)	(略)	(略)
分科会	調査審議事項	構成	備考																														
男女共同参画分科会	(略)	(略)	(略)																														
アンケート検討小分科会	1. 全国の大学・研究機関・学協会等に対する男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援・学協会連携等に関するアンケートの分析 2. 男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援等の課題に関する研究者向けアンケート調査の分析 3. アンケート調査結果のまとめと提言としての公表に係る審議に関すること	15名以内の会員又は連携会員	設置期間:令和2年12月24日～令和5年9月30日																														
	(略)																																
分科会	調査審議事項	構成	備考																														
男女共同参画分科会	(略)	(略)	(略)																														
(新規設置)																																	
	(略)	(略)	(略)																														

附則（令和2年12月24日日本学術会議第306回幹事会決定）
この決定は、決定の日から施行する。

科学者委員会男女共同参画分科会小分科会の設置について

分科会等名： アンケート検討小分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	科学者委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	本小分科会の設置目的は以下の4点である。 ①24期に実施した全国的なアンケートの結果を分析する。 ②分析結果を提言としてまとめ、発出する。 ③データを適切に管理し、学術会議関係者及び研究者が利用できるように整理する。 ④文系及び理系の学協会連合が実施したアンケート結果との比較分析を行い、情報を関係組織と共有する。
4	審議事項	1. 全国の大学・研究機関・学協会等に対する男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援・学協会連携等に関するアンケートの分析 2. 男女共同参画・ダイバーシティ推進・若手支援等の課題に関する研究者向けアンケート調査の分析 3. アンケート調査結果のまとめと提言としての公表に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続

【機能別委員会】

○委員の決定（新規3件）

（科学者委員会学術体制分科会）

氏名	所属・職名	備考	推薦
小林 傳司	大阪大学名誉教授、大阪大学C Oデザインセンター特任教授	第一部会員、 第一部幹事	第一部
橋本 伸也	関西学院大学文学部教授	第一部会員、 第一部部長	第一部
山田八千子	中央大学大学院法務研究科教授	第一部会員	第一部
吉田 文	早稲田大学教育・総合科学学術 院教授	第一部会員	第一部
伊佐 正	京都大学大学院医学研究科神経 生物学分野教授	第二部会員	第二部
石塚真由美	北海道大学大学院獣医学研究院 教授	第二部会員	第二部
小林 武彦	東京大学定量生命科学研究所教授	第二部会員	第二部
佐々木 裕之	九州大学 生体防御医学研究所 教授 高等研究院・研究院長	第二部会員	第二部
望月 眞弓	慶應義塾大学名誉教授・薬学部 特任教授	第二部会員、 副会長	副会長
伊藤 公平	慶應義塾大学理工学部教授	第三部会員	第三部
梶田 隆章	東京大学宇宙線研究所・教授	第三部会員、 会長	副会長
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科教授	第三部会員、 第三部幹事	第三部
萩田 紀博	大阪芸術大学 アートサイエンス 学科学科長/教授	第三部会員	第三部
菱田 公一	明治大学研究・知財戦略機構特 任教授	第三部会員、 副会長	副会長
光石 衛	東京大学大学執行役 副学長・大 学院工学系研究科教授	第三部会員	第三部
吉村 忍	東京大学副学長、大学院工学系 研究科教授	第三部会員、 第三部部長	副会長
中西 和嘉	国立研究開発法人物質・材料研 究機構機能性材料研究拠点・分 子機能化学グループ主任研究員	連携会員	副会長

※各部の4名以内の会員及び委員会の6名以内の委員並びに会員又は連携会員若干名

(科学者委員会研究評価分科会)

氏名	所属・職名	備考	推薦
小林 傳司	大阪大学名誉教授、大阪大学CO デザインセンター特任教授	第一部会員	副会長
松下 佳代	京都大学高等教育研究開発推進セ ンター教授	第一部会員	副会長
溝端佐登史	京都大学経済研究所教授	第一部会員、 第一副部長	副会長
遠藤 玉夫	地方独立行政法人東京都健康長寿 医療センター研究所シニアフェロ ー	第二部会員	副会長
武田 洋幸	東京大学副学長・大学院理学系研 究科教授	第二部会員、 第二部長	副会長
古谷 研	創価大学大学院工学研究科教授	第二部会員	副会長
相田美砂子	広島大学特任教授・学長特命補佐	第三部会員	副会長
木部 暢子	大学共同利用機関法人人間文化研 究機構国立国語研究所教授	連携会員	副会長
高瀬 堅吉	自治医科大学大学院医学研究科教 授	連携会員	副会長
林 隆之	政策研究大学院大学教授	連携会員	副会長
藤井 良一	大学共同利用機関法人情報・シス テム研究機構長	連携会員	副会長
松尾由賀利	法政大学理工学部教授	連携会員	副会長
松中 学	名古屋大学大学院法学研究科教 授	連携会員	副会長
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授（研究 院生活環境科学系）	連携会員	副会長

※20名以内の会員又は連携会員

(科学者委員会男女共同参画分科会アンケート検討小分科会)

氏名	所属・職名	備考	推薦
佐藤 嘉倫	東北大学大学院文学研究科教授、京都先端科学大学人文学部学部長・教授	第一部会員	副会長
若尾 政希	一橋大学大学院社会学研究科教授	第一部会員	副会長
熊谷日登美	日本大学生物資源科学部教授	第二部会員	副会長
望月 眞弓	慶應義塾大学名誉教授・薬学部特任教授	第二部会員、副会長	副会長
野尻美保子	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授	第三部会員	副会長
山口 周	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構研究開発部教授	第三部会員	副会長
井野瀬久美恵	甲南大学文学部教授	連携会員	副会長
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究員	連携会員	副会長
工藤眞由美	大阪大学理事・副学長	連携会員	副会長
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授	連携会員	副会長
永瀬 伸子	お茶の水女子大学 基幹研究院教授	連携会員	副会長
藤井 良一	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長	連携会員	副会長
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授（研究院生活環境科学系）	連携会員	副会長

※15名以内の会員又は連携会員

【機能別委員会】

○委員の決定（追加3件）

（科学者委員会）

氏名	所属・職名	備考	推薦
吉岡 充弘	北海道大学大学院医学研究院 長、薬理学分野教授	第二部会員	副会長
岩崎 渉	東京大学大学院理学系研究科准 教授	連携会員	副会長

（科学者委員会男女共同参画分科会）

氏名	所属・職名	備考	推薦
吉永 直子	京都大学大学院農学研究科応用 生命科学専攻助教	連携会員	副会長

（科学者委員会学協会連携分科会）

氏名	所属・職名	備考	推薦
熊谷日登美	日本大学生物資源科学部教授	第二部会員	副会長
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発 機構研究員	連携会員	副会長

【機能別委員会】

提案4

○委員の決定（新規3件）

（国際委員会アジア学術会議等分科会）

氏名	所属・職名	備考	推薦
小長谷 有紀	独立行政法人日本学術振興会監事	第一部会員	第一部
吉田 和彦	京都産業大学外国語学部客員教授	第一部会員	第一部
高山 弘太郎	豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所教授・愛媛大学農学研究科教授	第二部会員	第二部
小池 俊雄	国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）センター長、東京大学名誉教授、政策研究大学院大学連携教授	第三部会員	第三部
佐竹 健治	東京大学地震研究所地震火山情報センター教授	第三部会員	第三部
小川 宣子	中部大学応用生物学部教授	連携会員	第二部
窪田 幸子	神戸大学大学院国際文化学研究科教授	連携会員	第一部
澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授	連携会員	副会長

(国際委員会 I S C 等分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員	副会長
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員	第三部
春山 成子	三重大学名誉教授	第三部会員	副会長
植松 光夫	東京大学名誉教授、埼玉県環境科学国際センター総長	連携会員	第三部
河野 俊行	九州大学法学研究院教授	連携会員	第一部
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授	連携会員	第二部
中野 聡	一橋大学学長	連携会員	第一部
中村 桂子	東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学教授	連携会員	副会長
村上 哲明	東京都立大学理学研究科教授	連携会員	第二部

(国際委員会科学者に関する国際人権対応分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科教授	第一部会員	第一部
高山 佳奈子	京都大学大学院法学研究科教授	第一部会員	第一部
和田 肇	名古屋大学名誉教授・特任教授	第一部会員	第一部
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究院教授	第二部会員	第二部
伊藤 由佳理	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携 宇宙研究機構教授	第三部会員	第三部
有信 睦弘	東京大学大学執行役・副学長	連携会員	第三部

部が直接統括する分野別委員会合同分科会の設置について

合同分科会の名称：第一部総合ジェンダー分科会

1	担当部及び関係委員会名	第一部
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>学術におけるジェンダー視点の重要性に鑑み、自然科学領域（第二部・第三部）では、若手研究者育成や研究における多様性確保の観点を含めて、男女共同参画 (gender equality) のための学協会との連携が進められてきたのに対して、人文・社会科学領域（第一部）では、そうした取り組みが遅れていた。しかし、第 23 期において人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS) が発足した。第 24 期には GEASS とも協力した活動を進めてきた。そこで、第 25 期では、人文・社会科学をはじめとする学術全体におけるジェンダー研究の社会的役割と課題について持続的に検討するとともに、男女共同参画の健全な展開を実現すべく、必要に応じて GEAHSS の活動をサポートするなど、学協会との連携を推進する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人文社会科学系学協会の相互連携によるジェンダー統計の調査・分析・公表の推進、ジェンダー平等に関する好事例の共有。 2. 人文社会科学系学協会との相互連携と分野横断的ジェンダー研究の推進、男女共同参画の展開に向けた課題の検討。 3. 自然科学と人文社会科学における男女共同参画の連携協力に向けた課題の検討。
5	設置期間	令和 2 年 12 月 24 日～令和 5 年 9 月 30 日
6	備考	※事実上の継続

【第一部】

○委員の決定（新規3件）

（第一部総合ジェンダー分科会）

氏名	所属・職名	備考
岡部 美香	大阪大学大学院人間科学研究科教授	第一部会員
野口 晴子	早稲田大学政治経済学術院教授	第一部会員
芳賀 満	東北大学高度教養教育・学生支援機構教授	第一部会員
原田 範行	慶応義塾大学文学部教授	第一部会員
三尾 裕子	慶応義塾大学文学部教授	第一部会員

（第一部国際協力分科会）

氏名	所属・職名	備考
上東 貴志	神戸大学計算社会科学研究所センターセンター長	第一部会員
栗田 禎子	千葉大学大学院人文科学研究院教授	第一部会員
白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
日比谷 潤子	学校法人聖心女子学院常務理事	第一部会員
太田 康広	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授	連携会員
窪田 幸子	神戸大学大学院国際文化学研究科教授	連携会員
河野 俊行	九州大学法学研究院教授	連携会員
竹中 千春	立教大学法学部教授	連携会員
仲 真紀子	立命館大学総合心理学部教授、北海道大学名誉教授	連携会員
町村 敬志	一橋大学大学院社会学研究科特任教授	連携会員

（第一部人文・社会科学基礎データ分科会）

氏名	所属・職名	備考
岡崎 哲二	東京大学大学院経済学研究科教授	第一部会員
勝野 正章	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
坂田 省吾	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	第一部会員
佐藤 嘉倫	東北大学大学院文学研究科教授、京都先端科学大学人文学部学部長・教授	第一部会員

野口 晃弘	名古屋大学大学院経済学研究科教授	第一部会員
矢野 桂司	立命館大学文学部教授	第一部会員
若尾 政希	一橋大学大学院社会学研究科教授	第一部会員
渡部 泰明	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
久留島 典子	東京大学史料編纂所教授	連携会員
佐藤 岩夫	東京大学社会科学研究所長・教授	連携会員
本田 由紀	東京大学大学院教育学研究科教授	連携会員

【第二部】

○委員の決定（追加1件）

（第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会）

氏名	所属・職名	備考
神尾 陽子	お茶の水女子大学客員教授、発達障害クリニック附属発達研究所所長	連携会員

【第三部】

○委員の決定（新規1件）

（第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会）

氏名	所属・職名	備考
伊藤由佳理	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	第三部会員
大島 まり	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授	第三部会員
大場みち子	公立はこだて未来大学システム情報科学部情報アーキテクチャ学科教授	第三部会員
佐々木 葉	早稲田大学理工学術院創造理工学部教授	第三部会員
関根 千津	株式会社住化技術情報センター代表取締役社長	第三部会員
谷口倫一郎	九州大学理事・副学長	第三部会員
玉田 薫	九州大学先導物質化学研究所主幹教授・副学長	第三部会員
中川 聡子	東京都市大学名誉教授	第三部会員
西原 寛	東京理科大学研究推進機構総合研究院教授	第三部会員
野尻美保子	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授	第三部会員
堀 利栄	愛媛大学理工学研究科教授・学長特別補佐	第三部会員
伊藤 貴之	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授	連携会員
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究員	連携会員
斎藤 毅	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員
須山 章子	東芝エネルギーシステムズ株式会社エネルギーシステム技術開発センターシニアエキスパート	連携会員
千住 智信	琉球大学工学部教授	連携会員
渡辺美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事・ダイバーシティ推進室室長	連携会員

分野別委員会運営要綱の一部を次のように改正する。

改正後					改正前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
心理学・教育学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	心理学・教育学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	心理学・教育学委員会心の研究将来構想分科会	1) 先鋭的で学際的な心の科学研究を推進するための戦略 2) 創造的な心の研究を持続的に発展させるための戦略	15名以内の会員又は連携会員	令和2年10月29日～令和5年9月30日		心理学・教育学委員会心の研究将来構想分科会	1) 先鋭的で学際的な心の科学研究を推進するための戦略 2) 創造的な心の研究を持続的に発展させるための戦略	10名以内の会員又は連携会員	令和2年10月29日～令和5年9月30日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	心理学・教育学委員会乳幼児発達・保育分科会	乳幼児期の発達の基礎メカニズム及び、発達を支える子育て・保育のあり方に関する審議	15名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日	(新規設置)				
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
法学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	法学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	法学委員会セーフティネットと法分科会	ポスト・コロナに向けた働き方とセーフティネットの在り方についての検討と具体的な提言	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月29日～令和5年9月30日		法学委員会セーフティネットと法分科会	ポスト・コロナに向けた働き方とセーフティネットの在り方についての検討と具体的な提言	15名以内の会員又は連携会員	令和2年10月29日～令和5年9月30日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会	生物物理学分野の学協会等との連絡・連携、及び当該分野の発展を期するための調査審議並びに情報発信に係る審議に関する事	30名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日		基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会	生物物理学分野の学協会等との連絡・連携、及び当該分野の発展を期するための調査審議並びに情報発信に係る審議に関する事	30名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会	国際純粋・応用生物物理学連合(IUPAB)への対応に関する事	5名以内の会員又は10名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会	国際純粋・応用生物物理学連合(IUPAB)への対応に関する事	5名以内の会員又は10名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会	統合生物委員会に記載	統合生物委員会に記載	統合生物委員会に記載
	(略)	(略)	(略)	(略)
統合生物学委員会	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会	1. 自然人類学と総合人類学との協力的発展 2. 霊長類から日本列島人に至る進化の統一的理解 3. 古代人に学ぶ健康な食育の推進に係る審議に関すること	18名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	データベース等の基盤整備や人材育成方策などバイオインフォマティクスの推進方策に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	
基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	
農学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会	統合生物委員会に記載	統合生物委員会に記載	統合生物委員会に記載
	(略)	(略)	(略)	(略)
統合生物学委員会	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会	1. 自然人類学と総合人類学との協力的発展 2. 霊長類から日本列島人に至る進化の統一的理解 3. 古代人に学ぶ健康な食育の推進に係る審議に関すること	18名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	データベース等の基盤整備や人材育成方策などバイオインフォマティクスの推進方策に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日
基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	
基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	基礎生物委員会に記載	
農学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会 合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
	食料科学委員会・農学委員会 合同食の安全分科会	農学委員会に記載	農学委員会に記載	農学委員会に記載
食料科学委員会	食料科学委員会水産学分科会	水産学分野の学協会等の連絡・連携及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	食料科学委員会獣医学分科会	1. 獣医学分野の学協会等との連絡・連携の促進、及び当該分野の研究・教育の発展ひいては社会貢献を期すための調査審議並びに情報発信 2. 科学と行政の橋渡しに係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
	食料科学委員会・農学委員会 合同食の安全分科会	1. 食品科学、食品衛生、家畜衛生、公衆衛生などの自然科学分野、社会システムに関連する農業経済、社会心理、法学などの社会科学分野と連携して、食の安全に関する科学と社会、科学と行政の有効な連携が取れる方策 2. 食の安全問題に関する政策への提言に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
基礎医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会 合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
	食料科学委員会・農学委員会 合同食の安全分科会	農学委員会に記載	農学委員会に記載	農学委員会に記載
食料科学委員会	食料科学委員会水産学分科会	水産学分野の学協会等の連絡・連携及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	食料科学委員会獣医学分科会	1. 獣医学分野の学協会等との連絡・連携の促進、及び当該分野の研究・教育の発展ひいては社会貢献を期すための調査審議並びに情報発信 2. 科学と行政の橋渡しに係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日
	食料科学委員会・農学委員会 合同食の安全分科会	1. 食品科学、食品衛生、家畜衛生、公衆衛生などの自然科学分野、社会システムに関連する農業経済、社会心理、法学などの社会科学分野と連携して、食の安全に関する科学と社会、科学と行政の有効な連携が取れる方策 2. 食の安全問題に関する政策への提言に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和3年3月31日
基礎医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	基礎医学委員会IUBMB分科会	IUBMB会議への参加計画 IUBMB委員等推薦 IUBMB総会招致 その他IUBMB連携に関わること	6名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	基礎医学委員会IUPHAR分科会	1. 薬理学・創薬科学に関する学術事項 2. 学際的・国際的連携に関する事項 3. IUPHARの各部門との連携に関する事項 4. 国際的プレゼンスの維持・向上に関する事項 5. 国際的人材の育成に関する事項 に係る審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	基礎医学委員会病原体学分科会	病原体研究に携わる人材育成、研究連携に係る諸問題に関する事項	20名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	臨床医学委員会・基礎医学委員会合同法医学分科会	臨床医学委員会に記載	臨床医学委員会に記載	臨床医学委員会に記載
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
臨床医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
				(新規設置)
				(新規設置)
				(新規設置)
	(略)	(略)	(略)	(略)
				(新規設置)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
臨床医学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	臨床医学委員会・基礎医学委員会合同法医学分科会	1. 法医学を志す若手医師の確保について-若手医師の動向 把握と戦略 2. 現状の法医学に関係する制度の問題点と改善案 3. 法医学の重要性に関する国民の理解を深める活動の推進に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	臨床医学委員会臨床ゲノム医学分科会	ゲノムファーストになりつつある医学・医療のあり方に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・臨床医学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会	総合工学委員会に記載	総合工学委員会に記載	総合工学委員会に記載
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
薬学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
環境学委員会	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 CIIC小委員会	「気候と雪氷圏」に関する振興や社会貢献、国際会議等への代表派遣や役員等の推薦、国際会議等の日本招致等に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
		(新規設置)		
		(新規設置)		
	(略)	(略)	(略)	(略)
		(新規設置)		
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
薬学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
環境学委員会	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会	(略)	(略)	(略)
		(新規設置)		

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会CLIVAR小委員会	CLIVARに関する研究振興、役員等の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本への招致等に係る審議に関すること	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会Future Earth Coasts小委員会	国内のFuture Earth Coasts関連活動の推進と、国際的な連携に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会GEWEX小委員会	GEWEXに関する研究・学問分野の推進、社会貢献、役員等推薦、国際会議招致・代表派遣他に係る審議に関すること	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会GLP小委員会	1. GLPに関わる研究の支援、普及、人材育成に関わる議論 2. GLP研究の社会への還元 3. 2021年開催予定のアジアGLP会議の支援に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会IGAC小委員会	IGACに関する国際連携研究の推進と国内推進計画策定および社会への情報発信等に係る審議に関すること	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会iLEAPS小委員会	iLEAPSに関わる国内外の研究動向を見極め、関連学問分野を推進し、社会貢献に資するための事項に審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会IMBeR小委員会	国内のIMBeR研究の推進とFUTURE EARTH関連研究との連携及び国際的な連携協力に係る審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
		(新規設置)		

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会PAGES小委員会	1. 地球古環境の研究の振興、普及および社会貢献に関する案件 2. 役員等の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本への招致などに関する案件に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会SOLAS小委員会	SOLAS関連研究の国内における分野連携や国際連携の推進、社会実装に向けた具体的方策に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F・E・WCRP合同分科会SPARC小委員会	SPARCと連携した国際的および国内的な成層圏・対流圏科学の振興、普及および社会貢献に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会環境政策・環境計画分科会	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会	持続可能な社会への投資のため、何が求められているのか、従来の研究はどうか、どのような課題は何か、どのような研究をすべきなのかに係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者	令和2年12月24日～令和5年9月30日

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
		(新規設置)		
		(新規設置)		
		(新規設置)		
	(略)	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会環境政策・環境計画分科会	(略)	(略)	(略)
		(新規設置)		

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
数理学委員会	数理学委員会IMU分科会	1. IMUと連携した国際的および国内的な数理学の振興、普及および社会貢献に関する事項 2. IMUの予算や活動に対する日本としての意見の決定、IMU総会へ派遣評議員の決定、IMUに関する役員等の推薦、フィールズ賞、ガウス賞などの各賞の受賞者の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本での開催・招致に関する事項 3. その他に係る審議に関すること	15名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	数理学委員会数学分科会	1. 数学およびその近接諸分野の研究状況、研究活性化のために必要な方策および諸学会の連携に関する事項 2. 第23期の提言「数理学と他の科学分野や産業との連携の基盤整備に向けた提言」および第24期に計画されたシンポジウム「データとAIの時代への数理学」の内容をもとに数学を社会に生かすための検討および意思の表出に関する事項に係る審議に関すること	30名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	数理学委員会数理統計学分科会	数理統計学の教育・研究に関わる諸問題、数理統計学の社会における役割に関わる諸問題、統計学の学術会議での扱いに係る審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
	数理学委員会数学教育分科会	さまざまな学校段階における数学教育の在り方、国際的な数学教育に関連した活動に係る審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
数理学委員会		(新規設置)		
		(新規設置)		
		(新規設置)		
	数理学委員会数学教育分科会	さまざまな学校段階における数学教育の在り方、国際的な数学教育に関連した活動に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年10月3日～令和5年9月30日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 CiIC小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 CLIVAR小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 Future Earth Coasts小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 GEWEX小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 GLP小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 IGAC小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 iLEAPS小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 IMBeR小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 PAGES小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F E・WCRP合同分科会 SOLAS小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F E・WCRP合同分科会 SPARC小委員会	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載	環境学委員会に記載

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
		(新規設置)		
		(新規設置)		

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・臨床医学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会	1. 核医学分野における大型計画 2. 放射性医薬品の廃棄に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和2年12月24日～令和5年9月30日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	土木工学・建築学委員会感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会	1. 感染症が日本と世界に与えた影響(土木建築分野から見た総括) 2. 新しい生活、働き方、オフィス計画 3. 地球に優しい社会、産業、交通 4. 情報技術(IT, AI)の利用、整備 5. 人口減少と国土利用 6. 感染症下の防災・避難・復興 に係る審議に関すること	25名以内の会員又は連携会員	令和2年11月26日～令和5年9月30日

分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同バイオインフォマティクス分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	土木工学・建築学委員会感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会	1. 感染症が日本と世界に与えた影響(土木建築分野から見た総括) 2. 新しい生活、働き方、オフィス計画 3. 地球に優しい社会、産業、交通 4. 情報技術(IT, AI)の利用、整備 5. 人口減少と国土利用 6. 感染症下の防災・避難・復興 に係る審議に関すること	15名以内の会員又は連携会員	令和2年11月26日～令和5年9月30日

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会等名：心の研究将来構想分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	人間の心のしくみを科学的に理解し、その成果をさまざまな形で社会に還元していくために、心の研究はいま何をすべきかを検討する。心理学、情報学、医学・生物学、社会科学など多岐にわたる分野でダイナミックに進展している現代の心の研究を一体化させ、新しい学術の枠組みを創出するにはどうすればよいのか。心の研究の学問としての信頼性を高めるにはどうすればよいのか。また、あらゆる研究者が安心して研究できる環境を整えるはどうすればよいのか。このような心の研究の喫緊の課題に関して、実現可能な将来構想を提案する。
4	審議事項	1) 先鋭的で学際的な心の科学研究を推進するための戦略 2) 創造的な心の研究を持続的に発展させるための戦略
5	設置期間	令和2年10月29日～令和5年9月30日
6	備考	※委員構成の変更 所属希望者が多数だったため、委員の構成を変更する必要があるため。

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会等名：乳幼児発達・保育分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>乳幼児期は、生涯発達の基盤を形成する極めて重要な時期であり、この時期の成育環境保証は世界的にも注目される喫緊の社会課題である。わが国でも乳幼児期の保育・教育の重要性の認識と保育ニーズの急激な高まりに呼応して、子ども子育て支援新制度や幼児教育・保育無償化が試行されるなど、制度・政策面での大改革が進んでいる。</p> <p>そのあり方を吟味するためには、乳幼児期の発達の基礎メカニズム及び、発達を支える子育て・保育に関わる哲学・思想、制度・政策、実践に関わる様々な分野の学術知見を統合的に検討する必要がある。本分科会では、心理学及び教育学を中心に、関連領域の知見も踏まえながら、多様な視座から乳幼児期の発達・保育の課題を検討し、必要な提言を行うことを目的とする</p>
4	審議事項	乳幼児期の発達の基礎メカニズム及び、発達を支える子育て・保育のあり方に関する審議
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※新規設置

法学委員会分科会の設置について

分科会等名：セーフティネットと法分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	法学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>本分科会は、自然災害や経済危機が雇用や社会生活に大きな影響を与えている中で、雇用や多様な働き方におけるセーフティネットの再構築を法的側面から検討することを目的としている。今期の重点は、現在進行しているコロナ禍（新型コロナウイルス感染の拡大）について、現状分析、法的課題、その解決方策、とりわけ立法政策について分析・検討したい。対象分野は、雇用、社会保障、教育、その他の市民社会・生活であり、法分野としては憲法、労働法、社会保障法、教育法、ジェンダー法などが対象となるが、他の関連分野の協力も得たいと考えている。</p> <p>今までもこのテーマについて分析してきたが、残念ながら提言までつながらなかった。今期は、提言に結びつく検討を行いたい。</p>
4	審議事項	ポスト・コロナに向けた働き方とセーフティネットの在り方についての検討と具体的な提言
5	設置期間	令和2年10月29日～令和5年9月30日
6	備考	<p>※委員構成の変更</p> <p>所属希望者が多数だったため、委員の構成を変更する必要があるため。※事実上24期からの継続</p> <p>24期「セーフティ・ネットとあり方を考える」分科会</p>

基礎生物学委員会・統合生物学委員会分科会の設置について

分科会等名：生物物理学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○基礎生物学委員会 統合生物学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	生物物理学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信を目的とする。
4	審議事項	生物物理学分野の学協会等との連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上継続

基礎生物学委員会・統合生物学委員会分科会の設置について

分科会等名： IUPAB分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○基礎生物学委員会 統合生物学委員会
2	委員の構成	5名以内の会員又は10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	IUPABの設立は日本生物物理学会設立翌年の1961年で、その創設には故小谷正雄を中心に日本が深くかかわった歴史的経緯があり、以来IUPABの運営に常に尽力してきた。事実IUPAB会長、副会長に以下のような人材を輩出し、学術面だけでなく、学術行政の側面でも日本は存在感を示してきた。小谷正雄(1961～1964、副会長)、江橋節郎(1978～1981、会長)、郷信弘(1993～1999、副会長)、永山國昭(2005～2008、副会長)、永山國昭(2008～2011、会長) 現在世界の生物物理学勢力図は群を抜く米国、次に日本、中国と続きアジアの重要性が高まっている。これからはアジアと一体となって学術、行政の両面にわたり世界に寄与していくことが望まれるが、そのためにもIUPABに対応する国内委員会(IUPAB分科会)の設置は優先課題と考えられる。
4	審議事項	国際純粋・応用生物物理学連合(IUPAB)への対応に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上継続

統合生物学委員会・基礎生物学委員会分科会の設置について

分科会等名： 自然人類学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○統合生物学委員会 基礎生物学委員会
2	委員の構成	18名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	自然人類学とその関連分野において、学術的な発展と社会的な貢献をするために必要とされる活動を審議し、関連諸学協会の協力を得て具体的な行動を図る
4	審議事項	1. 自然人類学と総合人類学との協力的発展 2. 霊長類から日本列島人に至る進化の統一的理解 3. 古代人に学ぶ健康な食育の推進 に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上継続

統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・
情報学委員会分科会の設置について

分科会等名： バイオインフォマティクス分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○統合生物学委員会 基礎生物学委員会 農学委員会 基礎医学委員会 薬学委員会 情報学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	生命科学の分野で急速に重要性が増大しているバイオインフォマティクスは、生物学の多数の研究領域と計算機科学や情報学などの領域にまたがる研究領域である。バイオインフォマティクスやシステム生物学に関係した諸分野の専門家が集まって、この分野が21世紀の新しい生命科学に大きく寄与するためには、どのように推進すれば良いかを審議することを目的とする。また、このような考察をもとに、政策提言・社会提言・シンポジウムなどを行うことも目的とする。関連する国内外の学術団体との連携についても、この分科会が窓口となることが期待される。
4	審議事項	データベース等の基盤整備や人材育成方策などバイオインフォマティクスの推進方策に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上継続

食料科学委員会分科会の設置について

分科会等名：水産学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	食料科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	水産学関連分野は多くの領域にまたがっており、これらの学協会と連携・協力することは日本学術会議の提言機能の充実のために必須である。加えて、関連学協会間の連絡・連携・協力・調整の促進のための組織を日本学術会議に設置することは当該領域の教育研究の発展のために必要である。この目的のため、本分科会を食料科学委員会に設置する。
4	審議事項	水産学分野の学協会等の連絡・連携及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関する事
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上継続 令和2年11月13日に開催するシンポジウムを踏まえ、第25期において調査審議並びに情報発信を継続する必要があるため。

食料科学委員会分科会の設置について

分科会等名：獣医学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	食料科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議の提言機能を存分に発揮するためには、獣医学関連領域の多くの学協会と連携・協力することが重要である。また関係学協会間の連絡・連携・協力の促進のための組織を日本学術会議に設置することも獣医学領域の研究・教育の改善・充実のために必要である。このような目的のために本分科会を設置する。
4	審議事項	1. 獣医学分野の学協会等との連絡・連携の促進、及び当該分野の研究・教育の発展ひいては社会貢献を期すための調査審議並びに情報発信 2. 科学と行政の橋渡しに係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上24期からの継続

食料科学委員会・農学委員会分科会の設置について

分科会等名：食の安全分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○食料科学委員会 農学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	食の安全は、食料の安定供給(食の安全保障)、食品の安全性確保、食の防衛(アグロテロ、バイオテロ対応)などを含む幅広い概念である。近年、世界的に食に関連する安全問題や危機管理に関し、科学を基礎として政策決定への橋渡しを行う能力をもったレギュラトリーサイエンスの専門家をどのように育成し、社会に送り出すか、社会での受け入れ組織をどのように確立するかが問われている。 世界的な食料危機に発展しかねない家畜感染症や大規模化する食中毒、食品汚染だけでなく、食生活と関連した健康問題、食品の不正取扱い、情報偽装、食品テロ等に関しては、科学的情報の適切な伝達方法(リスクコミュニケーション)に関する科学や、食の防衛体制に関する科学が必要とされている。
4	審議事項	1. 食品科学、食品衛生、家畜衛生、公衆衛生などの自然科学分野、社会システムに関連する農業経済、社会心理、法学などの社会科学分野と連携して、食の安全に関する科学と社会、科学と行政の有効な連携が取れる方策 2. 食の安全問題に関する政策への提言に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和3年3月31日 (上記期限を令和5年9月30日まで延長)
6	備考	※事実上継続 令和2年11月14日に開催するシンポジウムを踏まえ、第25期において調査審議並びに情報発信を継続する必要があるため。

基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名： IUBMB 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎医学委員会
2	委員の構成	6名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>International Conference of Biochemistry and Molecular Biology (IUBMB; 国際生化学分子生物学連合) は、世界の国々に生化学分子生物学的科学研究を広めて、各国の若手研究者を育成することを理念として創設された国際的学術団体である。本目的を達成するために、各種の会議やシンポジウムを世界各地で持ち回りで開催している。</p> <p>IUBMBは日本学術会議加入の国際学術団体であり、\$16,000/年が分担金として支出されていることを鑑み、関連する会議への参加等IUBMBに対する取り組みについて審議するために本分科会を設置する。日本は2006年にIUBMB Congressのホスト国(本庶佑会頭)であったので、今後本Congressの我が国での開催を誘致するか等について、具体的な議論を行う必要がある。</p>
4	審議事項	<p>IUBMB会議への参加計画</p> <p>IUBMB委員等推薦</p> <p>IUBMB総会招致</p> <p>その他IUBMB連携に関わること</p>
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続

基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名： IUPHAR分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎医学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	薬理学・創薬科学に関連する学術基盤を整備すると共に、国際薬理学連合 (IUPHAR - International Union of Basic & Clinical Pharmacology) および国内外の関連学会と連携して基礎薬理学研究の発展を目指す。当分科会において、薬理学・創薬科学に関する学術事項、およびその学際的・国際的連携に関すること、IUPHAR の各部門との連携の強化、国際的プレゼンスの維持・向上、さらには次世代を担う国際的人材の育成に関する事項について審議し、必要な提言の発出やシンポジウムの開催等について検討する。
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学・創薬科学に関する学術事項 2. 学際的・国際的連携に関する事項 3. IUPHAR の各部門との連携に関する事項 4. 国際的プレゼンスの維持・向上に関する事項 5. 国際的人材の育成に関する事項 <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続

基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名： 病原体学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>病原体は、プリオン、ウイルス、細菌、真菌、寄生虫など多くの種類に分類されており、これらは人(動物)に感染し寄生する。その結果として、感染症が発症する。癌の病因となる病原体もある。これらの病原体と人との関わりあいを理解する研究、すなわち感染現象の研究は、細胞レベル、個体レベル、集団レベルなど全てのレベルで行うことが求められる。また病原体研究は、先端生命科学を担う基礎研究から、臨床研究、疫学、そして国際医療貢献までカバーする大変幅の広い学問であり、大きな視野を持つ研究者の育成が不可欠である。</p> <p>この分科会は、病原体を扱う研究に関する方向性の検討、各病原体研究の連携、宿主免疫研究との協力、そして病原体研究分野の人材育成などを目指して設置する。</p>
4	審議事項	病原体研究に携わる人材育成、研究連携に係る諸問題に関する事項
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続

臨床医学委員会・基礎医学委員会分科会の設置について

分科会等名：法医学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○臨床医学委員会 基礎医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>法医学は、犯罪捜査の手掛かりや、裁判のための医学的証拠を見つけ出し、事件の解決・犯罪の抑止に貢献し、さらに、事故原因の解明や再発防止、大災害における個人識別など、安全・安心な社会の構築に重要な領域である。しかしながら、近年、日本では法医学を志す若手医師がほとんどいないことが問題となっている。欧米では、法医学の専門機関が設置され、解剖や諸検査のための予算や人員が十分に確保されているが、日本では捜査機関が個別に大学に嘱託することで運営されており、法医実務のための十分な予算、人員などが確保しづらい現状がある。</p> <p>24期の分科会では、人材資源管理の観点から、医学生や初期研修医の進路選択の意思決定に関するアンケートにより、次世代の法医学者の確保における課題が示された。第25期では、この課題から法医学に進む若手医師確保の戦略、さらには、わが国における法医業務の運営制度の見直し、また、法医学の重要性に関する国民の理解を推進したい。</p>
4	審議事項	<p>1. 法医学を志す若手医師の確保について—若手医師の動向把握と戦略</p> <p>2. 現状の法医学に関係する制度の問題点と改善案</p> <p>3. 法医学の重要性に関する国民の理解を深める活動の推進に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続

臨床医学委員会分科会の設置について

分科会等名： 臨床ゲノム医学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	臨床医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>内閣総理大臣が本部長を務める健康・医療戦略本部、及び関連省庁全てが参画する健康・医療戦略推進会議において、「健康・医療戦略」が閣議決定され、この中で、ゲノム医療の実現に向けた基盤整備や取組の推進が掲げられ、ゲノム医療を実現するための取組を関係府省・関係機関が連携して推進するために、健康・医療戦略推進会議の下に、現在は「ゲノム医療協議会」が設置され協議を行なっている。</p> <p>現在、日本学術会議では基礎生物委員会に「遺伝学分科会」と「ゲノム科学分科会」が設けられているが、ゲノム医療実現推進のためには、臨床医学委員会に「臨床ゲノム医学分科会」が設置され、基礎科学、基礎医学に留まらない臨床の場における遺伝学、ゲノム学のあり方を検討してきた。これは時代の要請とも言え、日本学術会議提言「ゲノム医療・精密医療の多層的・統合的な推進」などを発信してきた。特に、臨床遺伝医学は既存の診療科や専門領域の枠組みを超えた横断的な視点で考える必要があり、その意味でもさまざまな領域の識者によって構成される日本学術会議が果たせる役割は大きい。</p>
4	審議事項	ゲノムファーストになりつつある医学・医療のあり方に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会
の設置について

分科会等名：C l i C小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	世界気候研究計画(World Climate Research Program)は、世界気象機構(WMO)、ユネスコ政府間海洋委員会(I O C)および国際学術会議(I S C)が合同で推進する計画であり、事務局はWMOが担当している。このWCRPの4つのコアプログラムの一つとして「気候と雪氷圏」(Climate and Cryosphere)があり、地球気候システムを構成する「雪氷圏」に焦点を絞り、雪氷圏の挙動と役割に関する研究の推進をする。 本小委員会は、C l i Cの4つの主要科学テーマである、気候における雪氷圏の役割、気候指標観測推進、雪氷物理化学プロセス、雪氷変動予測、に関する事項を中心に、国内での情報流通、日本の研究者の構想の委員会へのインプット、また対応した活動を国内で行うことを通じて、C l i Cの目標に貢献することを目的とする。
4	審議事項	「気候と雪氷圏」に関する振興や社会貢献、国際会議等への代表派遣や役員等の推薦、国際会議等の日本招致等に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会
の設置について

分科会等名：CLIVAR小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	CLIVAR (Climate and Ocean: Variability, Predictability and Change; 気候と海洋-変動・予測可能性・変化研究計画) は、世界気候研究計画 (WCRP) の4コアプロジェクトの1つであり、大気海洋結合系における力学や相互作用の諸過程とその予測可能性に関する理解の深化のための科学研究の推進により人類社会へ貢献することを使命とした組織である。本小委員会は、環境学・地球惑星科学両委員会の合同で設置された FE・WCRP 分科会の下で、IPCC に関連する国内外の情勢をも踏まえ、CLIVAR に関する国内外の連携を緊密化させることを設置の目的とする。
4	審議事項	CLIVAR に関する研究振興、役員等の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本への招致等に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 F E・W C R P 分科会小委員会
の設置について

分科会等名：Future Earth Coasts 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	Future Earth Coasts は、Future Earth の中で沿岸域における持続可能性と地球スケールの環境変化への適応を目指した研究プロジェクトで、IGBP と IHDP の下で実施されていた LOICZ (Land-Ocean Interactions in the Coastal Zone) の後継である。そこで本小委員会は、LOICZ からの継続性を考慮しながら、日本国内における Future Earth Coasts の活動の中心的な運営活動を担う。Future Earth Coasts の国際的活動との連携を図ると共に、沿岸域に関する国内の自然科学・工学・社会科学研究者が連携し、政策決定者、産業界との協業を目指して活動する。
4	審議事項	国内の Future Earth Coasts 関連活動の推進と、国際的な連携に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会の設置について

分科会等名：GEWEX小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	GEWEX (Global Energy and Water Exchanges ; 全球エネルギー・水循環観測計画) は、水循環、及び、地球表層と大気中のエネルギーフラックスを理解することを目的とし、WCRPの一部として開設されたプロジェクトである。GLASS (全球陸面/大気システム研究パネル)、GASS (全球大気システム研究パネル)、GHP (GEWEX水文気候パネル)、GDAP (GEWEXデータ同化パネル)の4つのパネルを設置して活動している。国内外の研究コミュニティと連携し、これらの研究課題に関する国際対応を具体化するのが、本小委員会設置の目的である。
4	審議事項	GEWEXに関する研究・学問分野の推進、社会貢献、役員等推薦、国際会議招致・代表派遣他に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上第24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会の設置について

分科会等名：GLP小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	本小委員会はGLP (Global Land Programme; 全地球陸域研究計画) と連携を取り、GLP に関わる研究を推進し、この分野での人材育成に関わる審議を行うことを目的とする。Future Earth のコアプロジェクトの一つとして再発足したGLP は国際研究推進体制を整備し、日本国内委員会である北海道大学 GLP Nodal Office として協力して、分野横断的に陸域研究、土地利用研究、土地被覆研究などに関係する国内外のGLP 関係の研究者との連絡を密にしてきた。24期で審議した大型研究プロジェクトの検討を継続し、2020年開催予定であったアジアGLP 会議の2021年延期に伴い会議の準備などの検討も行う。
4	審議事項	1. GLP に関わる研究の支援、普及、人材育成に関わる議論 2. GLP 研究の社会への還元 3. 2021年開催予定のアジアGLP 会議の支援に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会の設置について

分科会等名：IGAC小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	地球大気化学国際協同研究計画(IGAC:International Global Atmospheric Chemistry)は、iCACGP(The international Commission on Atmospheric Chemistry and Global Pollution)とFEが支援する国際プロジェクトである。日本の研究者も専門的見地からIGACの各アクティビティ(モデル間比較、オゾンアセスメント等)に参画し、国際連携の下で主にグローバルな対流圏大気化学研究(基礎過程や大気質・物質循環・気候影響面等)の推進のために活動している。そこで本小委員会では、こうしたIGAC国際連携研究を積極的に推進すること、他の小委員会とも連携し国内の10年研究計画を策定すること、社会への発信や研究能力育成等を議論することを目的とする。
4	審議事項	IGACに関する国際連携研究の推進と国内推進計画策定および社会への情報発信等に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会
の設置について

分科会等名：iLEAPS小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	Future Earth のコアプロジェクトである「統合陸域生態系－大気プロセス研究計画 (Integrated Land Ecosystem－Atmosphere Processes Study: iLEAPS)」の我が国の研究活動を推進し、国際的な iLEAPS の研究動向とネットワークに対応するために、分野横断的な研究者群からなる本小委員会を設置する。 特に、陸域生態系と大気間の水・物質・エネルギーの輸送に関わる物理・化学・生物過程とそれらの相互作用過程を解明することを目指した研究を通じ、持続可能な社会の実現に貢献し、Future Earth の理念を具体化するのが本小委員会設置の目的である。
4	審議事項	iLEAPS に関わる国内外の研究動向を見極め、関連学問分野を推進し、社会貢献に資するための事項に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F E・W C R P分科会小委員会
の設置について

分科会等名：IMBeR小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	1. FUTURE EARTHのコアプロジェクトであるIMBeR(海洋生物圏統合研究)の科学計画に基づき、生物地球化学と生態系研究を推進し、海洋システムの統合的な理解を深め、地球環境変動に対する海洋システムの応答機構とその社会への影響に関する研究を進展させる。 2. 日本においてSOLAS、FUTURE EARTH COASTS 等他のFUTURE EARTH コアプロジェクトとの連携を図るとともに、外国のIMBeR 関連研究プロジェクトと連携し、IMBeR の推進およびFUTURE EARTH での海洋領域研究の深化を目指す。
4	審議事項	国内のIMBeR 研究の推進とFUTURE EARTH 関連研究との連携及び国際的な連携協力に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会
の設置について

分科会等名：PAGES小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	Future Earth のコアプロジェクトのひとつである PAGES (Past Global Changes) は、地球の過去の環境復元を通じた気候変動のダイナミクスの理解を目的とする。関連する分野は第四紀学・地質学・雪氷学・気象学・地理学・地球化学・海洋学など広い範囲にまたがり、対象は地圏ばかりでなく、水圏・大気圏などに及び、動植物・人間の生活なども含む。このため、国内的にも国際的にも研究連絡は重要な推進要素のひとつで、本小委員会の設置の主目的である。FE の古環境の復元に関する領域の研究教育、啓蒙活動の具体的な実行計画、成果の検討などについて、各研究者及び研究機関との間の連絡に当たる。
4	審議事項	1. 地球古環境の研究の振興、普及および社会貢献に関する案件 2. 役員等の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本への招致などに関する案件 に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同F E・W C R P分科会小委員会
の設置について

分科会等名：SOLAS小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	海洋-大気間の物質相互作用研究計画 (Surface Ocean-Lower Atmosphere Study: SOLAS) は、海洋と大気の境界領域を主な対象に化学、物理、生物分野の研究を展開する国際コアプロジェクトとして立ち上がり、国際的な研究活動を活発に推進してきている。これまで国内小委員会は、国内関連研究の推進や国際会議の主催等、国際コアプロジェクトと連携することで、地球環境の将来予測に向けた統合研究の発展に貢献してきた。今後も SOLAS 関連研究において我が国が先導的役割を果たす実施体制の構築及び分野連携や国際連携を推進し、社会実装に向けた具体的方策を審議するために SOLAS 小委員会を設置する。
4	審議事項	SOLAS 関連研究の国内における分野連携や国際連携の推進、社会実装に向けた具体的方策に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP分科会小委員会
の設置について

分科会等名：SPARC小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	SPARC (成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響) は、世界気候研究計画 (WCRP) の4つのコアプロジェクトの1つであり、国際協力を通じて成層圏・対流圏の諸過程とその気候影響に関する研究の推進と発展により人類社会への貢献に寄与することを使命とした組織である。本小委員会は、環境学委員会・地球惑星科学委員会合同のFE・WCRP 合同分科会の下で、SPARC に関する我が国の研究振興や普及、社会貢献を促すとともに、国際対応を審議し、役員等の推薦、国際会議への代表者派遣、国際会議の日本への招致等に関し具体化することを設置目的とする。
4	審議事項	SPARC と連携した国際的および国内的な成層圏・対流圏科学の振興、普及および社会貢献に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

環境学委員会環境政策・環境計画分科会小委員会の設置について

分科会等名：サステナブル投資小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	環境学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	SDGsにおいて持続可能性を高めるための様々な目標が国連、国や自治体で設定されているが、その優先度を判断するための科学的根拠は乏しい状況である。企業においては、ESGを通じたSDGs貢献もあるが根拠の不十分さは同様である。現在、SDGsの評価やESGファクターをマネジメントの判断材料にするサステナブル投資に対する関心は年々高まり、投資規模は拡大を続けている。しかし、依然として効果を図ることが難しい。そこで、持続可能性を高めていることの効果的かつ新たな枠組みを構築するにあたり、従来の研究の整理し、今後何ができるのかを取りまとめる。
4	審議事項	持続可能な社会への投資のため、何が求められているのか、従来の研究はどうなっているのか、課題は何か、どのような研究をすべきなのかに係る審議に関する事。
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※新規設置

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名： IMU 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	数理科学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>IMU(国際数学連合)は1951年9月に発足し、1952年にはICSU(国際科学会議)のメンバーと認められた国際学術団体である。数学における国際協力を推進すること、4年に一度開かれるICM(国際数学者会議)を初めとする国際的な研究集会や会議を主催・後援をすること、純粋・応用数学、数学教育など数理科学の発展のために国際的活動を援助することなどを目的としている。また、発展途上国の若手数学者を財政的に援助するなどの活動も行っている。</p> <p>2005年9月までは、日本学術会議数学研究連絡委員会が、その後は日本学術会議数理科学委員会が、日本を代表して国内委員会の役割を担っていた。1990年には京都市においてアジアで初めてのICMを開催した。</p> <p>IMUは近年、事務局を充実させるなど、活動を活発化させつつある。これまでの、国内委員会の活動を継承しつつ、日本学術会議の理念に沿った国際対応を具体化するのが、本分科会設置の目的である。</p>
4	審議事項	<p>1. IMU と連携した国際的および国内的な数理科学の振興、普及および社会貢献に関する事項</p> <p>2. IMU の予算や活動に対する日本としての意見の決定、IMU 総会へ派遣評議員の決定、IMU に関する役員等の推薦、フィールズ賞、ガウス賞などの各賞の受賞者の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本での開催・招致に関する事項</p> <p>3. その他</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年12月24日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名：数学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	数理科学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>数学は、最古の学問分野の一つであり、長い歴史を持つ一方、現代に至っては、多方面への広がりが増している。古くからあった、幾何学、代数学、解析学といった諸分野は、抽象性を増し高度に発達している。他方、工学、経済学、情報学、生命科学などへの応用に直接結びつく数学が、コンピュータの発展などとも関わって、大きな発展を遂げている。これらの諸数学は、現代文明を成立させる諸科学に不可欠な土台を形成している。</p> <p>多方面に及ぶ数学の諸分野の現状を把握し、多くの分野の相互の交流を図り、今後の発展に必要な諸方策を考えること、数学を社会に生かすための方策の検討とその意思の表出が重要であり、これを行うことが設置の目的である。</p>
4	審議事項	<p>1. 数学およびその近接諸分野の研究状況、研究活性化のために必要な方策および諸学会の連携に関する事項</p> <p>2. 第23期の提言「数理科学と他の科学分野や産業との連携の基盤整備に向けた提言」および第24期に計画されたシンポジウム「データとAIの時代への数理科学」の内容をもとに数学を社会に生かすための検討および意思の表出に関する事項</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年12月24日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名： 数理統計学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	数理科学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>統計学は諸学にまたがる広い学問領域であり、数理統計学を中心としながらも、その範囲は数理科学の範疇を超えている。また、その社会的な影響は大変大きい。</p> <p>このような、統計学について、学術会議の中で議論が行われる場が必要であり、現在の分野別委員会の制度のもとでは、数理科学委員会の中に数理統計学分科会を設置し、他委員会の統計学関連の会員・連携会員を含めた形の運営形態をとることによって、統計学全般の教育・研究について議論する。</p>
4	審議事項	数理統計学の教育・研究に関わる諸問題、数理統計学の社会における役割に関わる諸問題、統計学の学術会議での扱いに係る審議に関する事
5	設置期間	令和2年12月24日～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名：数学教育分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会 に○印を付ける。)	数理科学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>数学は論理力や発想力を培う教科であるとともに、科学や技術の基盤としても重要である。</p> <p>数学教育は初等・中等教育において重要な位置を占めており、大学の基礎教育においても数学は非常に重要である。そのため、数学を中心とする数理科学において教育の占める比重は大きく、日本の数理科学の研究者のほとんどは数学教育を本務の一つと考えている。</p> <p>数学教育は数理科学の研究者が社会にかかわる中で最も中心的な仕事の一つである。その重大さに鑑み、数学教育分科会を設け、数学教育にかかわる諸課題の検討を行う。</p> <p>なお、前期までに引き続き、当分科会は ICMI (International Commission on Mathematical Instruction) の活動の日本での窓口となり、国際的な数学教育の活動にも参加する。</p>
4	審議事項	さまざまな学校段階における数学教育の在り方、国際的な数学教育に関連した活動に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日～令和5年9月30日
6	備考	<p>※委員構成の変更</p> <p>所属希望者が多数だったため、委員の構成を変更する必要があるため</p>

総合工学委員会・臨床医学委員会分科会の設置について

分科会等名：放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 臨床医学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>放射性医薬品に関して、短半減期 66 時間の ^{99}Mo の壊変で生じる $^{99\text{m}}\text{Tc}$ で標識された放射性医薬品による診断が年間およそ 100 万件行われているが、全てが輸入で各種のトラブルにより供給が止まる状況が改善されていない。また、近年、治療に用いる α 放出核を用いた放射性医薬品の高い治療効が注目されているが、我が国における治療用放射性医薬品の研究開発が立ち遅れている。</p> <p>今後、放射性医薬品を用いた診断・治療が発展し、各種の RI が診断や治療に用いられることが予想され、それらの廃棄が問題となる。</p> <p>(I) 大出力の加速器を用いて 1) ^{99}Mo の製造の国産化と 2) 新たな治療用薬剤に用いる放射性同位元素 (RI) の製造を可能にするための大型計画を提案すること。</p> <p>(II) 各種の RI の廃棄に関する実現可能な方策を提案すること。</p> <p>(I)、(II) の審議内容も RI の製造や廃棄に係る観点が重要で、原子力分野の知識が基本となることから総合工学委員会と臨床医学委員会の合同分科会とする。</p>
4	審議事項	<p>1. 核医学分野における大型計画</p> <p>2. 放射性医薬品の廃棄に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和 2 年 1 2 月 2 4 日 ~ 令和 5 年 9 月 3 0 日
6	備考	※事実上 2 4 期からの継続

土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会

1	所属委員会名 <small>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)</small>	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>2020年 COVID-19により多くの人命が犠牲となり、国や地域を越えた移動や生活の自由度が大きく制限された。一方で二酸化炭素排出量は大きく削減され、大都市への人口集中も抑制された。換言すればこの感染症を新しい生活様式を構築する好機ととらえることもできる。</p> <p>移動の抑制、集中の緩和等の感染症対策が地球環境改善に効果的であったという事実は、感染症対策と地球環境問題対策が同じベクトルを有していることを示す。情報環境の整備、IT化の推進が不要不急の移動・集合、資源の浪費を抑制するための代替手段として有効であることも明らかとなった。本分科会では我々の生活様式、働き方にさかのぼり、感染症対策が示した影響・効果の事実を検証しながら、激甚災害、人口減少、地球環境問題を考慮した変化に強い、しなやかな建築・インフラのあり方、都市や地域のあり方、情報技術の整備のあり方を考える。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症が日本と世界に与えた影響（土木建築分野から見た総括） 2. 新しい生活、働き方、オフィス計画 3. 地球に優しい社会、産業、交通 4. 情報技術(IT, AI)の利用、整備 5. 人口減少と国土利用 6. 感染症下の防災・避難・復興に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年11月26日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	<p>※委員構成の変更</p> <p>所属希望者が多数だったため、委員の構成を変更する必要があるため。</p>

【委員会及び分科会】

○委員の決定（新規 77 件）

（言語・文学委員会古典文化と言語分科会）

氏名	所属・職名	備考
渡部 泰明	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
有元 伸子	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	連携会員
安藤 宏	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
大芝 芳弘	東京都立大学名誉教授	連携会員
小黒 康正	九州大学大学院人文科学研究院教授	連携会員
川合 康三	京都大学名誉教授	連携会員
糸川麻里生	慶應義塾大学文学部教授	連携会員
倉員 正江	日本大学生物資源科学部一般教養教授	連携会員
佐藤 利行	広島大学理事・副学長	連携会員
西村 賀子	和歌山県立医科大学名誉教授	連携会員
三宅 晶子	奈良大学文学部教授	連携会員
山田 俊治	横浜市立大学名誉教授	連携会員

（言語・文学委員会文化の邂逅と言語分科会）

氏名	所属・職名	備考
原田 範行	慶応義塾大学文学部教授	第一部会員
平田オリザ	四国学院大学社会学部教授	第一部会員
阿部 公彦	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
伊藤たかね	東京大学大学院総合文化研究科教授	連携会員
今西 典子	東京大学名誉教授	連携会員
大津由紀雄	関西大学外国語学部客員教授	連携会員
大宮勘一郎	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
梶 茂樹	京都産業大学現代社会学部教授	連携会員
木津 祐子	京都大学大学院文学研究科教授	連携会員
小泉 政利	東北大学大学院文学研究科教授	連携会員

高橋 宏幸	京都大学大学院文学研究科教授	連携会員
鳥飼玖美子	立教大学名誉教授	連携会員
林 徹	放送大学東京文京学習センター所長（特任教授）	連携会員
水野 尚之	京都大学名誉教授	連携会員

（言語・文学委員会科学と日本語分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
吉田 和彦	京都産業大学外国語学部客員教授	第一部会員
狩俣 繁久	琉球大学名誉教授（島嶼地域科学研究所客員研究員）	連携会員
木部 暢子	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所教授	連携会員
金水 敏	大阪大学大学院文学研究科教授	連携会員
工藤眞由美	大阪大学理事・副学長	連携会員
小泉 政利	東北大学大学院文学研究科教授	連携会員
小西いずみ	東京大学大学院人文社会系研究科准教授	連携会員
小林 隆	東北大学大学院文学研究科教授	連携会員
定延 利之	京都大学大学院文学研究科教授	連携会員
鈴木 泰	東京大学名誉教授	連携会員

（心理学・教育学委員会法と心理学分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
行場 次朗	尚絅学院大学心理教育学群教授	第一部会員
笠井 修	中央大学大学院法務研究科教授	連携会員
河原純一郎	北海道大学大学院文学研究科教授	連携会員
笹倉 香奈	甲南大学法学部教授	連携会員
土井 政和	九州大学名誉教授	連携会員
豊崎 七絵	九州大学大学院法学研究院教授	連携会員
仲 真紀子	立命館大学総合心理学部教授、北海道大学名誉教授	連携会員

中島 聡美	武蔵野大学人間科学部人間科学科教授	連携会員
箱田 裕司	京都女子大学発達教育学部教授	連携会員
平山 真理	白鷗大学法学部教授	連携会員

(心理学・教育学委員会社会のための心理学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
遠藤 利彦	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
唐沢かおり	東京大学学院人文社会系研究科教授	連携会員
桑野 園子	大阪大学名誉教授	連携会員
高瀬 堅吉	自治医科大学大学院医学研究科教授	連携会員
野澤 祥子	東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授	連携会員
原田 悦子	筑波大学人間系教授	連携会員
三浦 佳世	九州大学名誉教授	連携会員
村田 光二	成城大学社会イノベーション学部教授	連携会員

(心理学・教育学委員会健康・医療と心理学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
松井 三枝	金沢大学国際基幹教育院教授	第一部会員
秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座老年病学分野教授	連携会員
内富 庸介	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院支持療法開発部門 部門長	連携会員
柏野 牧夫	日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー・柏野多様脳特別研究室長	連携会員
小林 祥泰	島根大学医学部特任教授、島根大学名誉教授	連携会員
佐々木 淳	大阪大学大学院人間科学研究科准教授	連携会員
鈴木 伸一	早稲田大学人間科学学術院教授	連携会員
積山 薫	京都大学大学院総合生存学館教授	連携会員
丹野 義彦	東京大学名誉教授	連携会員

三村 將	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室教授	連携会員
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学) 教授	連携会員
山口 真美	中央大学文学部教授	連携会員

(心理学・教育学委員会心理学教育プログラム検討分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
遠藤 利彦	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
楠見 孝	京都大学大学院教育学研究科教授	連携会員
桑野 園子	大阪大学名誉教授	連携会員
高瀬 堅吉	自治医科大学大学院医学研究科教授	連携会員
丹野 義彦	東京大学名誉教授	連携会員
宮谷 真人	広島大学理事・副学長	連携会員

(心理学・教育学委員会心の総合基礎分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
坂田 省吾	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	第一部会員
西田 眞也	京都大学大学院情報学研究科教授	第一部会員
綾部 早穂	筑波大学人間系教授	連携会員
川合 伸幸	名古屋大学情報学研究科教授	連携会員
川畑 秀明	慶應義塾大学文学部教授	連携会員
木村 英司	千葉大学大学院人文科学研究院教授	連携会員
齋木 潤	京都大学大学院人間・環境学研究科共生人間学 専攻教授	連携会員
實藤和佳子	九州大学大学院人間環境学研究院准教授	連携会員
原田 悦子	筑波大学人間系教授	連携会員
三浦 佳世	九州大学名誉教授	連携会員
明和 政子	京都大学大学院教育学研究科教授	連携会員
村上 郁也	東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究 室教授	連携会員
四本 裕子	東京大学大学院総合文化研究科准教授	連携会員

(心理学・教育学委員会公認心理師の専門性と社会貢献検討分科会)

氏名	所属・職名	備考
松井 三枝	金沢大学国際基幹教育院教授	第一部会員
神尾 陽子	お茶の水女子大学客員教授/発達障害クリニック附属発達研究所所長	連携会員
川上 憲人	東京大学大学院医学系研究科教授	連携会員
桑野 園子	大阪大学名誉教授	連携会員
佐々木 淳	大阪大学大学院人間科学研究科准教授	連携会員
鈴木 伸一	早稲田大学人間科学学術院教授	連携会員
住居 広士	県立広島大学大学院教授	連携会員
高瀬 堅吉	自治医科大学大学院医学研究科教授	連携会員
丹野 義彦	東京大学名誉教授	連携会員
仲 真紀子	立命館大学総合心理学部教授、北海道大学名誉教授	連携会員
中島 聡美	武蔵野大学人間科学部人間科学科教授	連携会員

(心理学・教育学委員会乳幼児発達・保育分科会)

氏名	所属・職名	備考
遠藤 利彦	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
浅井 幸子	東京大学大学院教育学研究科准教授	連携会員
大桃 敏行	学習院女子大学国際文化交流学部国際コミュニケーション学科教授	連携会員
小玉 重夫	東京大学学院教育学研究科教授	連携会員
小玉 亮子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授	連携会員
實藤和佳子	九州大学大学院人間環境学研究院准教授	連携会員
中坪 史典	広島大学大学院人間社会科学研究科准教授	連携会員
野澤 祥子	東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授	連携会員
村上 祐介	東京大学大学院教育学研究科准教授	連携会員

(社会学委員会社会理論分科会)

氏名	所属・職名	備考
有田 伸	東京大学社会科学研究所教授	第一部会員
佐藤 嘉倫	東北大学大学院文学研究科教授、京都先端科学 大学人文学部学部長・教授	第一部会員
今田 高俊	東京工業大学名誉教授、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構統計数理研究所データ 科学研究系客員教授	連携会員
岩間 暁子	立教大学社会学部教授	連携会員
江頭 大蔵	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	連携会員
遠藤 薫	学習院大学法学部政治学科教授	連携会員
落合恵美子	京都大学大学院文学研究科教授	連携会員
盛山 和夫	東京大学名誉教授	連携会員
園田 茂人	東京大学大学院情報学環・東洋文化研究所教授	連携会員
筒井 淳也	立命館大学産業社会学部教授	連携会員
友枝 敏雄	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進 機構特任教授・大阪大学名誉教授	連携会員
中村 高康	東京大学大学院教育学研究科教授	連携会員
町村 敬志	一橋大学大学院社会学研究科特任教授	連携会員
村上あかね	桃山学院大学社会学部社会学科准教授	連携会員
山田真茂留	早稲田大学文学学術院教授	連携会員
吉原 直樹	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究 院教授	連携会員
渡邊 雅子	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授	連携会員

(史学委員会博物館・美術館等の組織運営に関する分科会)

氏名	所属・職名	備考
芳賀 満	東北大学高度教養教育・学生支援機構教授	第一部会員
小佐野重利	東京大学相談支援研究開発センター特任教授	連携会員
秋山 聰	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員

木俣 元一	名古屋大学大学院人文学研究科教授	連携会員
佐藤 宏之	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
菊地 芳朗	福島大学行政政策学類教授	連携会員
松田 陽	東京大学大学院人文社会系研究科准教授	連携会員
小津稚加子	九州大学大学院経済学研究院准教授	連携会員
渡辺 晋輔	独立行政法人国立新美術館学芸課主任研究員・国立西洋美術館主任研究員	連携会員
池上 裕子	神戸大学国際文化学研究科准教授	連携会員
瀬谷 愛	東京国立博物館保存修復室長	連携会員
來田 享子	中京大学スポーツ科学部教授	連携会員

(史学委員会・地域研究委員会・哲学委員会・言語文学委員会合同アジア研究・対アジア関係に関する分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
宇山 智彦	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授	第一部会員
栗田 禎子	千葉大学大学院人文科学研究院教授	第一部会員
芳賀 満	東北大学高度教養教育・学生支援機構教授	第一部会員
加藤 隆宏	東京大学大学院人文社会系研究科准教授	連携会員
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授	連携会員
君島 和彦	東京学芸大学名誉教授	連携会員
久保 亨	信州大学人文学部特任教授	連携会員
黒木 英充	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授	連携会員
國分 典子	法政大学法学部教授	連携会員
小嶋 茂稔	東京学芸大学副学長 教育学部教授	連携会員
坂井 俊樹	開智国際大学教育学部教育学部長・教授	連携会員
下田 正弘	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
高見澤 磨	東京大学東洋文化研究所教授	連携会員
中野 聡	一橋大学学長	連携会員

中村 元哉	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部准教授	連携会員
三重野文晴	京都大学東南アジア地域研究研究所教授	連携会員
水羽 信男	広島大学大学院総合科学研究科教授	連携会員
三ツ井 崇	東京大学大学院総合文化研究科准教授	連携会員
村上 衛	京都大学人文科学研究所准教授	連携会員
桃木 至朗	大阪大学大学院文学研究科世界史講座教授	連携会員
吉澤誠一郎	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員

(史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
芳賀 満	東北大学高度教養教育・学生支援機構教授	第一部会員
臼杵 勲	札幌学院大学人文学部人間科学科教授	連携会員
内山 幸子	東海大学国際文化学部デザイン文化学科准教授	連携会員
恵谷 浩子	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所文化遺産部研究員	連携会員
大久保徹也	徳島文理大学文学部教授	連携会員
奥村 弘	神戸大学大学院人文学研究科長	連携会員
菊地 芳朗	福島大学行政政策学類教授	連携会員
佐藤 宏之	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
佐藤 義明	成蹊大学法学部教授	連携会員
瀬谷 愛	東京国立博物館保存修復室長	連携会員
辻田淳一郎	九州大学大学院人文科学研究院准教授	連携会員
林部 均	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館研究部教授・副館長	連携会員
福永 伸哉	大阪大学大学院文学研究科教授	連携会員
松田 陽	東京大学大学院人文社会系研究科准教授	連携会員
松本 直子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	連携会員
宮路 淳子	奈良女子大学人間文化研究科教授	連携会員

(史学委員会歴史認識・歴史教育に関する分科会)

氏名	所属・職名	備考
栗田 禎子	千葉大学大学院人文科学研究院教授	第一部会員
佐野 正博	明治大学経営学部教授	第一部会員
若尾 政希	一橋大学大学院社会学研究科教授	第一部会員
井野瀬久美恵	甲南大学文学部教授	連携会員
奥村 弘	神戸大学大学院人文学研究科長	連携会員
長 志珠絵	神戸大学大学院国際文化学研究科教授	連携会員
大日方純夫	早稲田大学文学学術院教授	連携会員
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科教授	連携会員
君島 和彦	東京学芸大学名誉教授	連携会員
久保 亨	信州大学人文学部特任教授	連携会員
久留島典子	東京大学史料編纂所教授	連携会員
小嶋 茂稔	東京学芸大学副学長・教育学部教授	連携会員
近藤 孝弘	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	連携会員
坂井 俊樹	開智国際大学教育学部教育学部長・教授	連携会員
鈴木 茂	名古屋外国語大学世界共生学部教授	連携会員
辻田淳一郎	九州大学大学院人文科学研究院准教授	連携会員
中村 元哉	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部准教授	連携会員
姫岡とし子	東京大学名誉教授	連携会員
平野千果子	武蔵大学人文学部教授	連携会員
星乃 治彦	福岡大学人文学部教授	連携会員
水羽 信男	広島大学大学院総合科学研究科教授	連携会員
桃木 至朗	大阪大学大学院文学研究科世界史講座教授	連携会員
柳原 敏昭	東北大学大学院文学研究科教授	連携会員

(史学委員会歴史学とジェンダーに関する分科会)

氏名	所属・職名	備考
高橋 裕子	津田塾大学学長・教授	第一部会員

芳賀 満	東北大学高度教養教育・学生支援機構教授	第一部会員
井野瀬久美恵	甲南大学文学部教授	連携会員
隠岐 さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授	連携会員
長 志珠絵	神戸大学大学院国際文化学研究科教授	連携会員
海妻 径子	岩手大学人文社会科学部教授	連携会員
木本喜美子	法政大学大学院フェアレイバー研究所特任研究員、一橋大学名誉教授	連携会員
京樂真帆子	滋賀県立大学人間文化学部教授	連携会員
久木田直江	静岡大学人文社会科学部教授	連携会員
久留島典子	東京大学史料編纂所教授	連携会員
小玉 亮子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授	連携会員
小浜 正子	日本大学文理学部教授	連携会員
永原 陽子	京都大学大学院文学研究科教授	連携会員
姫岡とし子	東京大学名誉教授	連携会員
平野千果子	武蔵大学人文学部教授	連携会員
星乃 治彦	福岡大学人文学部教授	連携会員
松本 直子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	連携会員
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授（研究院生活環境科学系）	連携会員
桃木 至朗	大阪大学大学院文学研究科世界史講座教授	連携会員
來田 享子	中京大学スポーツ科学部教授	連携会員

(地域研究委員会人文・経済地理学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
松原 宏	東京大学大学院総合文化研究科教授	第一部会員
矢野 桂司	立命館大学文学部教授	第一部会員
井口 梓	愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科准教授	連携会員
池口 明子	横浜国立大学教育学部准教授	連携会員

石川 徹	東洋大学情報連携学部教授	連携会員
石川 義孝	帝京大学経済学部教授	連携会員
井田 仁康	筑波大学人間系教授	連携会員
岡橋 秀典	奈良大学文学部教授	連携会員
近藤 章夫	法政大学経済学部国際経済学科 教授	連携会員
田原 裕子	國學院大學経済学部教授	連携会員
中澤 高志	明治大学経営学部教授	連携会員
中谷 友樹	東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻教授	連携会員
橋本 雄一	北海道大学大学院文学研究院教授	連携会員
浜口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授	連携会員
氷見山幸夫	北海道教育大学名誉教授	連携会員
増田 聡	東北大学大学院経済学研究科教授	連携会員
水内 俊雄	大阪市立大学都市研究プラザ教授・文学研究科教授	連携会員
宮町 良広	大分大学経済学部地域システム学科教授	連携会員
森本 泉	明治学院大学国際学部教授	連携会員
山川 充夫	福島大学名誉教授・客員教授	連携会員
山崎 孝史	大阪市立大学大学院文学研究科人間行動学専攻地理学専修教授	連携会員
山下 潤	九州大学大学院比較社会文化研究院教授	連携会員
山本佳世子	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授	連携会員
横山 智	名古屋大学大学院環境学研究科教授	連携会員
吉田 道代	和歌山大学観光学部観光学科教授	連携会員
渡辺 浩平	帝京大学文学部准教授	連携会員

(地域研究委員会地域学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小長谷有紀	独立行政法人日本学術振興会 監事	第一部会員

松原 宏	東京大学大学院総合文化研究科教授	第一部会員
矢野 桂司	立命館大学文学部教授	第一部会員
井口 梓	愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科准教授	連携会員
岩瀬 峰代	島根大学教育・学生支援機構大学教育センター准教授	連携会員
岡橋 秀典	奈良大学文学部教授	連携会員
小林 知	京都大学東南アジア地域研究研究所准教授	連携会員
小山 良太	福島大学経済経営学類教授	連携会員
近藤 章夫	法政大学経済学部国際経済学科 教授	連携会員
曾我 亨	弘前大学人文社会科学部教授	連携会員
田原 裕子	國學院大學経済学部教授	連携会員
中澤 高志	明治大学経営学部教授	連携会員
増田 聡	東北大学大学院経済学研究科教授	連携会員
水内 俊雄	大阪市立大学都市研究プラザ教授・文学研究科教授	連携会員
宮町 良広	大分大学経済学部地域システム学科教授	連携会員
山川 充夫	福島大学名誉教授・客員教授	連携会員
山崎 孝史	大阪市立大学大学院文学研究科人間行動学専攻地理学専修教授	連携会員
吉田 道代	和歌山大学観光学部観光学科教授	連携会員

(法学委員会「グローバル化と法」分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
高山佳奈子	京都大学大学院法学研究科教授	第一部会員
川嶋 四郎	同志社大学法学部法律学科教授	第一部会員
浅田 正彦	京都大学大学院法学研究科教授	連携会員
浅野 有紀	同志社大学司法研究科教授	連携会員
阿部 克則	学習院大学法学部教授	連携会員
江島 晶子	明治大学法学部教授	連携会員

岩澤 雄司	東京大学法学部教授	連携会員
片山 直也	慶應義塾大学大学院法務研究科教授	連携会員
金山 直樹	慶應義塾大学法科大学院名誉教授	連携会員
河合 幹雄	桐蔭横浜大学法学部教授・副学長	連携会員
河野真理子	早稲田大学法学学術院教授	連携会員
佐藤 義明	成蹊大学法学部教授	連携会員
建石真公子	法政大学法学部教授	連携会員
角田 猛之	関西大学法学部教授	連携会員
土井 政和	九州大学名誉教授	連携会員
中谷 和弘	東京大学大学院法学政治学研究科教授	連携会員
西谷 祐子	京都大学大学院法学研究科教授	連携会員
早川眞一郎	専修大学法科大学院教授	連携会員
本多 滝夫	龍谷大学法学部法律学科教授	連携会員
横溝 大	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員

(法学委員会ジェンダー法分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
南野 佳代	京都女子大学法学部教授	第一部会員
石田 京子	早稲田大学大学院法務研究科教授	連携会員
後藤 弘子	千葉大学大学院社会科学研究院教授	連携会員
島岡 まな	大阪大学大学院法学研究科教授	連携会員
武田万里子	津田塾大学学芸学部教授	連携会員
立石 直子	岐阜大学地域科学部地域政策学科准教授	連携会員
建石真公子	法政大学法学部教授	連携会員
谷口 洋幸	金沢大学国際基幹教育院准教授	連携会員
内藤 忍	独立行政法人労働政策研究・研修機構 副主任研究員	連携会員
中里見 博	大阪電気通信大学工学部人間科学研究センター 一教授	連携会員
二宮 周平	立命館大学法学部教授	連携会員

糠塚 康江	東北大学名誉教授	連携会員
平山 真理	白鷗大学法学部教授	連携会員
三浦 まり	上智大学法学部教授	連携会員
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授	連携会員
矢野 恵美	琉球大学大学院法務研究科教授	連携会員
吉田 容子	弁護士	連携会員

(法学委員会 IT 社会と法分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
川嶋 四郎	同志社大学法学部法律学科教授	第一部会員
川和 功子	同志社大学法学部教授	連携会員
木下麻奈子	同志社大学法学部・大学院法学研究科教授	連携会員
佐藤 義明	成蹊大学法学部教授	連携会員
千葉恵美子	大阪大学大学院高等司法研究科教授	連携会員
林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
松本 恒雄	一橋大学名誉教授	連携会員

(法学委員会社会と教育における LGBTI の権利保障分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
南野 佳代	京都女子大学法学部教授	第一部会員
高橋 裕子	津田塾大学学長・教授	第一部会員
伊藤 公雄	京都産業大学客員教授	連携会員
大河内美紀	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
緒方 桂子	南山大学法学部教授	連携会員
隠岐さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授	連携会員
國分 典子	法政大学法学部教授	連携会員
佐藤 義明	成蹊大学法学部教授	連携会員
島岡 まな	大阪大学大学院法学研究科教授	連携会員
谷口 洋幸	金沢大学国際基幹教育院准教授	連携会員
内藤 忍	独立行政法人労働政策研究・研修機構	連携会員

	副主任研究員	
二宮 周平	立命館大学法学部教授	連携会員
星乃 治彦	福岡大学人文学部長・教授	連携会員
三浦 まり	上智大学法学部教授	連携会員
三成 美保	奈良女子大学副学長・教授	連携会員
矢野 恵美	琉球大学大学院法務研究科教授	連携会員
吉沢豊予子	東北大学大学院医学系研究科保健学専攻教授	連携会員
吉田 道代	和歌山大学観光学部観光学科教授	連携会員
吉田 容子	弁護士	連携会員
來田 享子	中京大学スポーツ科学部教授	連携会員

(法学委員会「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 傳司	大阪大学名誉教授・大阪大学 CO デザインセンター特任教授	第一部会員
川嶋 四郎	同志社大学法学部教授	第一部会員
三成 賢次	大阪大学理事・副学長	第一部会員
糠塚 康江	東北大学名誉教授	連携会員
三成 美保	奈良女子大学副学長・研究院生活環境科学系教授	連携会員
田中 教雄	九州大学大学院法学研究院教授	連携会員
長谷河亜希子	弘前大学人文社会科学部准教授	連携会員
松本 尚子	上智大学法学部教授	連携会員
三阪 佳弘	大阪大学大学院高等司法研究科教授	連携会員
葛野 尋之	一橋大学大学院法学研究科教授	連携会員
林 真貴子	近畿大学法学部教授	連携会員
武内 謙治	九州大学大学院法学研究院教授	連携会員
平山 真理	白鷗大学法学部教授	連携会員

(経済学委員会ワークライフバランス研究分科会)

氏名	所属・職名	備考
大垣 昌夫	慶應義塾大学経済学部教授	第一部会員
大竹 文雄	大阪大学大学院経済学研究科教授	第一部会員
森口 千晶	一橋大学経済研究所教授	第一部会員
磯谷 明德	九州大学大学院経済学研究院経済工学部門教授	連携会員
臼井恵美子	一橋大学経済研究所教授	連携会員
宇南山 卓	京都大学経済研究所教授	連携会員
大石亜希子	千葉大学大学院社会科学研究院教授	連携会員
角谷 快彦	広島大学大学院人間社会科学研究所教授	連携会員
永瀬 伸子	お茶の水女子大学基幹研究院教授	連携会員
中村さやか	名古屋大学大学院経済学研究科准教授	連携会員
安井 健悟	青山学院大学経済学部教授	連携会員
吉沢豊予子	東北大学大学院医学系研究科教授	連携会員

(経済学委員会数量の経済・政策分析分科会)

氏名	所属・職名	備考
大竹 文雄	大阪大学大学院経済学研究科教授	第一部会員
西山 慶彦	京都大学経済研究所教授	第一部会員
臼井 恵美子	一橋大学経済研究所教授	連携会員
宇南山 卓	京都大学経済研究所教授	連携会員
大森 裕浩	東京大学大学院経済学研究科教授	連携会員
川崎 能典	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所モデリング研究系教授	連携会員
小原 美紀	大阪大学大学院国際公共政策研究科教授	連携会員
西郷 浩	早稲田大学政治経済学術院教授	連携会員
塩路 悦朗	一橋大学大学院経済学研究科教授	連携会員
瀬古 美喜	武蔵野大学経済学部教授	連携会員
高槻 泰郎	神戸大学経済経営研究所准教授	連携会員
中村 さやか	名古屋大学大学院経済学研究科准教授	連携会員
福重 元嗣	大阪大学大学院経済学研究科教授	連携会員

山下 智志	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所副所長・教授	連携会員
美添 泰人	青山学院大学経営学部招聘教授	連携会員

(経営学委員会・総合工学委員会合同サービス学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
西尾チヅル	筑波大学ビジネスサイエンス系教授	第一部会員
大倉 典子	芝浦工業大学名誉教授、SIT 総合研究所特任教授	第三部会員
新井 民夫	技術研究組合国際廃炉研究開発機構副理事長	連携会員
伊藤 宏幸	ダイキン工業株式会社テクノロジーイノベーションセンターリサーチコーディネーター	連携会員
伊藤 泰信	北陸先端科学技術大学院大学知識科学系准教授	連携会員
佐藤 信彦	熊本学園大学大学院会計専門職研究科専任教授	連携会員
鈴木 久敏	筑波大学名誉教授	連携会員
仙石 正和	事業創造大学院大学学長・教授	連携会員
椿 広計	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 理事 統計数理研究所長	連携会員
椿 美智子	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学 専攻教授	連携会員
水流 聡子	東京大学大学院工学系研究科特任教授	連携会員
戸谷 圭子	明治大学専門職大学院グローバルビジネス研 究科教授	連携会員
原 良憲	京都大学経営管理大学院教授	連携会員
平田 貞代	芝浦工業大学准教授	連携会員
村松 潤一	岡山理科大学経営学部教授、広島大学名誉教授	連携会員
山本 昭二	関西学院大学大学院経営戦略研究科教授	連携会員
吉瀬 章子	筑波大学大学院システム情報系教授	連携会員

(経営学委員会 SDGs と経営実践・経営学・経営学教育を検討する分科会)

氏名	所属・職名	備考
西尾チヅル	筑波大学ビジネスサイエンス系教授	第一部会員
朝日 弓未	東京理科大学経営学部経営学科教授	連携会員
瓜生原葉子	同志社大学商学部准教授	連携会員
大石 桂一	九州大学大学院経済学研究院教授	連携会員
奥林 康司	神戸大学名誉教授、大阪国際大学名誉教授	連携会員
上林 憲雄	神戸大学大学院経営学研究科教授	連携会員
香坂 玲	名古屋大学大学院環境学研究科教授	連携会員
阪 智香	関西学院大学商学部教授	連携会員
澤邊 紀生	京都大学大学院経営管理研究部教授	連携会員
清水 聰	慶応義塾大学商学部教授	連携会員
戸谷 圭子	明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科教授	連携会員
西谷 公孝	神戸大学経済経営研究所教授	連携会員
西村 訓弘	三重大学副学長・教授	連携会員
二神 枝保	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授	連携会員
村松 潤一	岡山理科大学経営学部教授、広島大学名誉教授	連携会員
森田 雅也	関西大学社会学部教授	連携会員

(経営学委員会 AI・IT 等の普及による経営実践・経営学・経営学教育への影響を検討する分科会)

氏名	所属・職名	備考
野口 晃弘	名古屋大学大学院経済学研究科教授	第一部会員
朝日 弓未	東京理科大学経営学部経営学科教授	連携会員
太田 康広	慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授	連携会員
恩藏 直人	早稲田大学常任理事・教授	連携会員
加藤志津子	明治大学経営学部経営学科教授	連携会員
齋藤 真哉	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授	連携会員
阪 智香	関西学院大学商学部教授	連携会員

佐々木郁子	東北学院大学経営学部経営学科教授	連携会員
佐藤 信彦	熊本学園大学学院会計専門職研究科専任教授	連携会員
鈴木 久敏	筑波大学名誉教授	連携会員
仙石 正和	事業創造大学院大学学長・教授	連携会員
椿 美智子	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻教授	連携会員
徳賀 芳弘	京都大学経営管理研究部大学院経済学研究科教授	連携会員
原 良憲	京都大学経営管理大学院教授	連携会員

(経営学委員会新型コロナ感染症による経営実践・経営学・経営学教育への影響を検討する分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
原 拓志	関西大学商学部教授	第一部会員
上野 恭裕	関西大学社会学部教授	連携会員
瓜生原葉子	同志社大学商学部准教授	連携会員
小津稚加子	九州大学大学院経済学研究院准教授	連携会員
上林 憲雄	神戸大学大学院経営学研究科教授	連携会員
佐々木郁子	東北学院大学経営学部経営学科教授	連携会員
清水 聰	慶応義塾大学商学教授	連携会員
高田 知実	神戸大学大学院経営学研究科准教授	連携会員
谷口 勇仁	中京大学経営学部教授	連携会員
徳賀 芳弘	京都大学経営管理研究部大学院経済学研究科教授	連携会員
開本 浩矢	大阪大学大学院経済学研究科教授	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同細胞生物学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 武彦	東京大学定量生命科学研究所教授	第二部会員
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究院教授	第二部会員
遠藤 求	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエン	連携会員

	ス研究領域教授	
大場 雄介	北海道大学大学院医学研究院教授	連携会員
岡田 由紀	東京大学定量生命科学研究科教授	連携会員
菊池 章	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員
坂内 博子	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
塩見美喜子	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
岸本 健雄	お茶の水女子大学客員教授、東京工業大学名誉教授	連携会員
清川 悦子	金沢医科大学病理学1教授	連携会員
糸 昭苑	東京工業大学大学院生命理工学研究院教授	連携会員
月田早智子	帝京大学戦略的イノベーション研究センター教授、大阪大学特任教授	連携会員
東原 和成	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻教授	連携会員
東山 哲也	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授	連携会員
中野 明彦	国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学研究センター副センター長	連携会員
西原 祥子	創価大学理工学研究科生命理学専攻教授	連携会員
吉森 保	大阪大学大学院生命機能研究科教授	連携会員
米田 悦啓	大阪大学名誉教授、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会・基礎医学委員会合同分子生物学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 武彦	東京大学定量生命科学研究科教授	第二部会員
杉本亜砂子	東北大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員
荒木 弘之	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所副所長・教授	連携会員
石川 麻乃	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	連携会員

	国立遺伝学研究所ゲノム・進化研究系助教	
石野 史敏	東京医科歯科大学難治疾患研究所エピジェネティクス分野教授・研究所長	連携会員
岩崎 渉	東京大学准教授	連携会員
内匠 透	神戸大学大学院医学研究科教授	連携会員
佐竹 暁子	九州大学大学院理学研究院教授	連携会員
塩見美喜子	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授	連携会員
林 茂生	国立研究開発法人理化学研究所多細胞システム形成研究センターチームリーダー	連携会員
東山 哲也	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授	連携会員
谷内江 望	東京大学先端科学技術研究センター合成生物学分野客員准教授	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物科学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 武彦	東京大学定量生命科学研究科教授	第二部会員
杉本亜砂子	東北大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員
武田 洋幸	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授	第二部会員
三村 徹郎	東京大学大学院農学生命科学研究科特任研究員、神戸大学名誉教授	第二部会員
石野 史敏	東京医科歯科大学難治疾患研究所エピジェネティクス分野教授・研究所長	連携会員
入江 直樹	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻准教授	連携会員
上野 直人	大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所教授	連携会員
川合 真紀	埼玉大学理工学研究科教授	連携会員
岸本 健雄	お茶の水女子大学客員教授、東京工業大学名誉	連携会員

	教授	
高橋 素子	札幌医科大学医学部医化学講座教授	連携会員
中野 明彦	国立研究開発法人理化学研究所光量子工学研究センター副センター長	連携会員
東原 和成	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻教授	連携会員
西谷 和彦	神奈川大学理学部教授	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 I U B S 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
武田 洋幸	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第二部会員
三村 徹郎	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構特任研究員	第二部会員
窪川かおる	東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター特任教授	連携会員
高田まゆら	中央大学理工学部人間総合理工学科准教授	連携会員
西田 治文	中央大学理工学部生命科学科教授	連携会員
村上 哲明	東京都立大学理学研究科教授	連携会員
吉田 丈人	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所准教授、東京大学大学院総合文化研究科准教授	連携会員
渡辺 京子	玉川大学農学部教授	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同遺伝学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 武彦	東京大学定量生命科学研究科教授	第二部会員
荒木 喜美	熊本大学生命資源研究・支援センター教授	連携会員
荒木 弘之	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所副所長、教授	連携会員
飯野 雄一	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授	連携会員

巖佐 庸	関西学院大学理工学部教授	連携会員
岩崎 博史	東京工業大学科学技術創成研究院教授	連携会員
岡田 由紀	東京大学定量生命科学研究所教授	連携会員
河野 重行	東京大学名誉教授	連携会員
篠原 美紀	近畿大学農学部バイオサイエンス学科教授	連携会員
田代 聡	広島大学原爆放射線医科学研究所所長	連携会員
平田たつみ	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所教授	連携会員
山本 卓	広島大学大学院統合生命科学研究科教授	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会・基礎医学委員会合同ゲノム科学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
武田 洋幸	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第二部会員
佐々木裕之	九州大学生体防御医学研究所教授、高等研究院 研究院長	第二部会員
小原 雄治	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター センター長・特任教授	連携会員
岡田 由紀	東京大学定量生命科学研究所教授	連携会員
岡村 好子	広島大学大学院統合生命科学研究科教授	連携会員
金井 弥栄	慶應義塾大学医学部病理学教室教授	連携会員
川合 知二	大阪大学産業科学研究所特任教授	連携会員
古庄 知己	信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究セン ター教授	連携会員
城石 俊彦	国立研究開発法人理化学研究所バイオリソー ス研究センターセンター長	連携会員
菅野 純夫	東京医科歯科大学難治疾患研究所非常勤講師	連携会員
高木 利久	富山国際大学学長	連携会員
建石真公子	法政大学法学部教授	連携会員
徳永 勝士	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	連携会員

	ゲノム医科学プロジェクトプロジェクト長	
平沢 晃	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座教授	連携会員
福嶋 義光	信州大学医学部・信州大学特任教授（医学部）	連携会員
本橋ほづみ	東北大学加齢医学研究所遺伝子発現制御分野教授	連携会員
森 郁恵	名古屋大学大学院理学研究科附属ニューロサイエンス研究センターセンター長・教授	連携会員

（統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同総合微生物科学分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 武彦	東京大学定量生命科学研究科教授	第二部会員
米田美佐子	東京大学生産技術研究所特任教授	第二部会員
赤池 孝章	東北大学大学院医学系研究科教授	連携会員
岩崎 渉	東京大学准教授	連携会員
岡部 聡	北海道大学大学院工学研究院教授	連携会員
岡村 好子	広島大学大学院統合生命科学研究科教授	連携会員
鏡味麻衣子	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授	連携会員
春日 文子	国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー、東京大学未来ビジョン研究センター	連携会員
小柳 義夫	京都大学ウイルス再生医科学研究科教授	連携会員
笹川 千尋	千葉大学真菌医学研究センター長	連携会員
関崎 勉	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
竹田 潔	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員
西山 真	東京大学生物生産工学研究センター教授	連携会員
松浦 善治	大阪大学微生物病研究所教授	連携会員

（農学委員会植物保護学分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
松本 宏	筑波大学生命環境系教授	第二部会員

上田 一郎	北海道大学名誉教授	連携会員
大黒 俊哉	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
小野 正人	玉川大学学術研究所所長	連携会員
嶋田 透	学習院大学理学部生命科学研究科教授	連携会員
西澤 洋子	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用部門遺伝子利用基盤研究領域ユニット長	連携会員
水口 亜樹	福井県立大学生物資源学部准教授	連携会員
渡辺 京子	玉川大学農学部教授	連携会員

(農学委員会農学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
土井 元章	京都大学大学院農学研究科教授	第二部会員
犬伏 和之	千葉大学園芸学研究科教授	連携会員
位田 晴久	宮崎大学名誉教授	連携会員
江面 浩	筑波大学生命環境系教授・つくば機能植物イノベーション研究センター長	連携会員
大杉 立	八ヶ岳中央農業実践大学校副校長	連携会員
片岡 圭子	愛媛大学農学研究科教授	連携会員
久保 康隆	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授	連携会員
下野 裕之	岩手大学農学部教授	連携会員
本間 香貴	東北大学農学研究科教授	連携会員
丸山 幸夫	筑波大学名誉教授	連携会員
山岸 順子	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
吉田 薫	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員

(農学委員会農業経済学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中嶋 康博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
梅津千恵子	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員

小田切徳美	明治大学農学部教授	連携会員
清原 昭子	福山市立大学都市経営学部教授	連携会員
栗山 浩一	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員
小山 良太	福島大学食農学類教授	連携会員
立川 雅司	名古屋大学大学院環境学研究科教授	連携会員
納口るり子	筑波大学生命環境系教授	連携会員
八木 信行	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
八木 洋憲	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	連携会員

(農学委員会・食料科学委員会合同 農学分野における名古屋議定書関連検討分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
経塚 淳子	東北大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員
丹下 健	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
土井 元章	京都大学大学院農学研究科教授	第二部会員
眞鍋 昇	大阪国際大学学長補佐・人間科学部教授	第二部会員
大杉 立	八ヶ岳中央農業実践大学校副校長	連携会員
甲斐知恵子	東京大学生命技術研究所特任教授・名誉教授	連携会員
香坂 玲	名古屋大学大学院環境学研究科教授	連携会員
佐藤 豊	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所教授	連携会員
嶋田 透	学習院大学理学部生命科学科教授(生物遺伝資源学)	連携会員

(農業委員会・食料科学委員会合同C I G R分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
高山弘太郎	豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合 研究所教授、愛媛大学農学研究科教授	第二部会員
仁科 弘重	愛媛大学理事・副学長	第二部会員
飯田 訓久	京都大学教授	連携会員
梅田 幹雄	京都大学名誉教授、ヤンマーアグリ株式会社開	連携会員

	発統括部顧問	
遠藤 良輔	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科講師	連携会員
大政 謙次	高崎健康福祉大学農学部長・教授、東京大学名誉教授	連携会員
奥島 里美	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業センター園芸研究領域再雇用職員	連携会員
岸田 義典	株式会社新農林社代表取締役社長	連携会員
後藤 英司	千葉大学大学院園芸学研究科教授	連携会員
澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授	連携会員
高橋 憲子	愛媛大学大学院農学研究科准教授	連携会員
野口 伸	北海道大学大学院農学研究院副研究院長・教授	連携会員
前川 孝昭	筑波大学名誉教授	連携会員
真木 太一	九州大学名誉教授	連携会員
宮崎 毅	東京大学名誉教授	連携会員
安永円理子	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	連携会員
弓削こずえ	佐賀大学農学部准教授	連携会員
吉本真由美	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター気候変動対応研究領域主席研究員	連携会員

(農学委員会・食料科学委員会・健康・生活科学委員会合同 I U N S 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
熊谷日登美	日本大学生物資源科学部教授	第二部会員
宮地 元彦	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部長	第二部会員
家光 素行	立命館大学スポーツ健康科学部教授	連携会員
稲垣 暢也	京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学教授	連携会員
児玉 浩子	帝京平成大学特任教授	連携会員
清水 誠	東京大学名誉教授、東京農業大学客員教授	連携会員

鈴木恵美子	お茶の水女子大学名誉教授	連携会員
竹中 麻子	明治大学農学部農芸化学科教授	連携会員
永田 知里	岐阜大学大学院医学系研究科教授	連携会員
那須 民江	中部大学生命健康科学部特任教授、名古屋大学 名誉教授	連携会員

(農学委員会・食料科学委員会合同農業情報システム学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
高山弘太郎	豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合 研究所教授、愛媛大学大学院農学研究科教授	第二部会員
仁科 弘重	愛媛大学理事・副学長	第二部会員
飯田 訓久	京都大学教授	連携会員
位田 晴久	宮崎大学名誉教授	連携会員
梅田 幹雄	京都大学名誉教授、ヤンマーアグリ株式会社開 発統括部顧問	連携会員
遠藤 良輔	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科講師	連携会員
大政 謙次	高崎健康福祉大学農学部長・教授、東京大学名 誉教授	連携会員
岸田 義典	株式会社新農林社代表取締役社長	連携会員
後藤 英司	千葉大学大学院園芸学研究科教授	連携会員
澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授	連携会員
高橋 憲子	愛媛大学大学院農学研究科准教授	連携会員
野口 伸	北海道大学大学院農学研究院副研究院長・教授	連携会員
橋口 公一	エムエスシーソフトウェア株式会社技術顧問、 九州大学名誉教授	連携会員
彦坂 晶子	千葉大学園芸学研究科准教授	連携会員
前川 孝昭	筑波大学名誉教授	連携会員
真木 太一	九州大学名誉教授	連携会員
安永円理子	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	連携会員
吉本真由美	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究 機構農業環境変動研究センター気候変動対応	連携会員

	研究領域主席研究員	
--	-----------	--

(農学委員会・食料科学委員会合同P S A分科会)

氏名	所属・職名	備考
古谷 研	創価大学大学院理工学研究科教授	第二部会員
印東 道子	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館名誉教授	連携会員
大越 和加	東北大学大学院農学研究科教授	連携会員
大沼あゆみ	慶應義塾大学経済学部教授	連携会員
狩俣 繁久	琉球大学名誉教授	連携会員
窪川かおる	東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター特任教授	連携会員
中野 伸一	京大大学生態学研究センター長・教授	連携会員
萩原 篤志	長崎大学総合生産科学域水産・環境科学総合研究科研究科長・水産学部長・教授	連携会員
花輪 公雄	東北大学名誉教授	連携会員
原田 尚美	国立研究開発法人海洋研究開発機構センター長	連携会員
安田 仁奈	宮崎大学農学部准教授	連携会員
渡部 終五	北里大学海洋生命科学部特任教授	連携会員

(基礎医学委員会形態・細胞生物医科学分科会)

氏名	所属・職名	備考
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究院教授	第二部会員
岡部 繁男	東京大学教授	連携会員
門松 健治	名古屋大学大学院医学系研究科教授	連携会員
河田 光博	佛教大学教授	連携会員
小路 武彦	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授	連携会員
後藤 英仁	三重大学医学部医学科教授	連携会員
澤本 和延	名古屋市立大学大学院医学研究科教授	連携会員
高橋 素子	札幌医科大学医学部医化学講座教授	連携会員
内匠 透	神戸大学大学院医学研究科教授	連携会員

武川 睦寛	東京大学医科学研究所教授	連携会員
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部教授	連携会員
中村 卓郎	公益財団法人がん研究会がん研究所副所長	連携会員
西 真弓	奈良県立医科大学医学部医学科教授	連携会員
萩原 正敏	京都大学大学院医学研究科形態形成機構学教室教授	連携会員
望月 直樹	国立研究開発法人国立循環器病研究センター所長	連携会員
米田 悦啓	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長	連携会員

(基礎医学委員会 IUBMB 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
五十嵐和彦	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
門松 健治	名古屋大学大学院医学系研究科教授	連携会員
菊池 章	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員
中野 明彦	国立研究開発法人理化学研究所光量子工学研究センター副センター長	連携会員
本橋ほづみ	東北大学加齢医学研究所遺伝子発現制御分野教授	連携会員

(基礎医学委員会 IUPHAR 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
金井 好克	大阪大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
吉岡 充弘	北海道大学大学院医学研究院長・薬理学分野教授	第二部会員
赤羽 悟美	東邦大学医学部教授	連携会員
池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科教授	連携会員
今井由美子	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所プロジェクトリーダー	連携会員

今泉 祐治	名古屋市立大学理事・副学長・教授	連携会員
上田 泰己	東京大学大学院医学系研究科教授	連携会員
黒川 洵子	静岡県立大学薬学部教授	連携会員
萩原 正敏	京都大学大学院医学研究科形態形成機構学教室教授	連携会員
古屋敷智之	神戸大学大学院医学研究科教授	連携会員
三澤日出巳	慶應義塾大学薬学部教授	連携会員
三品 昌美	立命館大学総合科学技術研究機構教授	連携会員
南 雅文	北海道大学大学院薬学研究院教授	連携会員

(基礎医学委員会病原体学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
神奈木真理	東京医科歯科大学名誉教授・非常勤講師、関西医科大学客員教授	第二部会員
米田美佐子	東京大学生産技術研究所特任教授	第二部会員
赤池 孝章	東北大学大学院医学系研究科環境医学分野教授	連携会員
鎌倉 光宏	慶應義塾大学名誉教授	連携会員
倉根 一郎	国立感染症研究所名誉所員	連携会員
小柳 義夫	京都大学ウイルス再生医科学研究所教授	連携会員
笹川 千尋	千葉大学真菌医学研究センター長、一般財団法人日本生物科学研究所理事長	連携会員
澤邊 京子	国立感染症研究所昆虫医科学部部長	連携会員
原 寿郎	地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院院長、九州大学名誉教授	連携会員
松浦 善治	大阪大学微生物病研究所所長・教授	連携会員
松岡 雅雄	熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科学講座教授	連携会員
脇田 隆宇	国立感染症研究所副所長	連携会員

(臨床医学委員会出生・発達分科会)

氏名	所属・職名	備考
藤井 知行	東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座教授	第二部会員
水口 雅	東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医科学分野教授	第二部会員
神尾 陽子	お茶の水女子大学客員教授・発達障害クリニック附属発達研究所所長	連携会員
児玉 浩子	帝京平成大学特任教授	連携会員
寺田 幸弘	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系産婦人科学講座教授	連携会員
原 寿郎	地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院院長、九州大学名誉教授	連携会員
船曳 康子	京都大学大学院人間・環境学研究科教授	連携会員
宮崎 康二	医療法人聖粒会慈恵病院顧問	連携会員

(臨床医学委員会移植・再生医療分科会)

氏名	所属・職名	備考
澤 芳樹	大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科教授	第二部会員
上野 義之	山形大学医学部医学部長・大学院医学系研究科研究科長	連携会員
瓜生原葉子	同志社大学商学部准教授	連携会員
岡田 潔	大阪大学大学院医学系研究科産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ特任准教授	連携会員
岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授・医学研究科委員長	連携会員
高橋 政代	株式会社ビジョンケア代表取締役社長(本務)、(以下兼務)国立研究開発法人理化学研究所生命機能科学研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト客員主管研	連携会員

	究員、神戸市立神戸アイセンター病院研究センター長	
田中 里佳	順天堂大学医学部形成外科学講座准教授	連携会員

(臨床医学委員会・心理学・教育学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同 子どもの成育環境分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
水口 雅	東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医科学分野教授	第二部会員
相澤 彰子	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授	第三部会員
大倉 典子	芝浦工業大学名誉教授・SIT総合研究所特任教授・中央大学大学院理工学研究科客員教授	第三部会員
宮地 充子	大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻教授	第三部会員
浅野みどり	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻教授	連携会員
伊香賀俊治	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授	連携会員
神尾 陽子	お茶の水女子大学客員教授・発達障害クリニック附属発達研究所所長	連携会員
神吉紀世子	京都大学工学研究科建築学専攻教授	連携会員
斎尾 直子	東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授	連携会員
定行まり子	日本女子大学家政学部教授	連携会員
都築 和代	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授	連携会員
中坪 史典	広島大学大学院人間社会科学研究科准教授	連携会員
三輪 律江	横浜市立大学国際総合科学部国際都市学	連携会員

	系まちづくりコース准教授	
湯川嘉津美	上智大学総合人間科学部教授	連携会員
吉野 博	東北大学名誉教授、秋田県立大学客員教授、前橋工科大学客員教授	連携会員

(臨床医学委員会臨床ゲノム医学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
戸田 達史	東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻 臨床神経精神学講座神経内科学分野教授	第二部会員
青木 洋子	東北大学大学院医学系研究科教授	連携会員
加藤 和人	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員
門脇 孝	東京大学名誉教授 / 国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長	連携会員
金井 弥栄	慶應義塾大学医学部病理学教室教授	連携会員
古庄 知己	信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター教授	連携会員
櫻井 晃洋	札幌医科大学医学部遺伝医学教授	連携会員
杉浦 真弓	名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科教授	連携会員
高田 史男	北里大学大学院医療系研究科教授	連携会員
田中 敏博	東京医科歯科大学大学院疾患多様性遺伝学分野教授	連携会員
玉利真由美	東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター分子遺伝学研究部教授	連携会員
徳永 勝士	国立研究開発法人国立国際医療研究センターゲノム医科学プロジェクトプロジェクト長	連携会員
中山 智祥	日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野教授	連携会員
平沢 晃	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座教授	連携会員

福嶋 義光	信州大学医学部・信州大学特任教授（医学部）	連携会員
三宅 秀彦	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授	連携会員
村上 善則	東京大学医科学研究所所長、癌・細胞増殖部門教授	連携会員
山内 泰子	川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科教授	連携会員

(健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同生活習慣病対策分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
磯 博康	大阪大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
宮地 元彦	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部長	第二部会員
安村 誠司	福島県立医科大学理事・副学長、医学部教授	第二部会員
秋葉 澄伯	弘前大学特任教授	連携会員
井上真奈美	国立研究開発法人国立がん研究センター社会 と健康研究センター予防研究部部長	連携会員
小熊 祐子	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学 院健康マネジメント研究科准教授	連携会員
香美 祥二	徳島大学病院病院長	連携会員
郡山 千早	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授	連携会員
児玉 浩子	帝京平成大学特任教授	連携会員
永田 知里	岐阜大学大学院医学系研究科教授	連携会員
那須 民江	中部大学生命健康科学部特任教授、名古屋大学 名誉教授	連携会員
八谷 寛	名古屋大学大学院医学系研究科教授（兼任：藤 田医科大学医学部教授）	連携会員

(薬学委員会薬学教育分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
佐治 英郎	京都大学特任教授 京都大学名誉教授	第二部会員
望月 眞弓	慶應義塾大学名誉教授・薬学部特任教授	第二部会員

石井伊都子	千葉大学医学部附属病院薬剤部教授・薬剤部長	連携会員
伊藤美千穂	京都大学大学院薬学研究科准教授	連携会員
入江 徹美	熊本大学大学院生命科学研究部教授	連携会員
太田 茂	和歌山県立医科大学教授	連携会員
奥 直人	帝京大学薬学部特任教授	連携会員
奥田 真弘	大阪大学医学部附属病院教授・薬剤部長	連携会員
高倉 喜信	京都大学大学院薬学研究科教授	連携会員
武田真莉子	神戸学院大学薬学部教授	連携会員
堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科教授	連携会員
安原 真人	帝京大学薬学部特任教授、東京医科歯科大学名誉教授	連携会員

(環境学委員会環境科学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科教授	第三部会員
所 千晴	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員
阿尻 雅文	東北大学材料科学高等研究所教授	連携会員
大河内美奈	東京工業大学物質理工学院教授	連携会員
大政 謙次	高崎健康福祉大学農学部長・教授、東京大学名誉教授	連携会員
小崎 隆	愛知大学国際コミュニケーション学部教授、京都大学名誉教授	連携会員
桑野 園子	大阪大学名誉教授	連携会員
後藤 雅宏	九州大学大学院工学研究院主幹教授	連携会員
谷 晃	静岡県立大学食品栄養科学部教授	連携会員
辻 佳子	東京大学環境安全研究センター教授	連携会員
野田 優	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
花木 啓祐	東洋大学情報連携学部教授	連携会員
平尾 雅彦	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
藤岡沙都子	慶應義塾大学専任講師	連携会員

真木 太一	九州大学名誉教授	連携会員
宮崎あかね	日本女子大学教授	連携会員
安田 仁奈	宮崎大学農学部准教授	連携会員
山本佳世子	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授	連携会員
吉田 丈人	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所准教授、東京大学大学院総合文化研究科准教授	連携会員
和田 元	同志社大学理工学部教授	連携会員

(環境学委員会環境思想・環境教育分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
馬奈木俊介	九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座教授	第一部会員
井上 真	早稲田大学人間科学学術院教授	連携会員
井上真理子	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学教育的資源研究グループ園主任研究員	連携会員
蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授	連携会員
河野 哲也	立教大学文学部教育学科教授	連携会員
北村 友人	東京大学大学院教育学研究科准教授	連携会員
工藤由貴子	日本女子大学大学院家政学研究科客員教授	連携会員
小崎 隆	愛知大学国際コミュニケーション学部教授、京都大学名誉教授	連携会員
関 礼子	立教大学社会学部教授	連携会員
豊田 光世	新潟大学佐渡自然共生科学センター准教授	連携会員
日置 光久	東京大学大学院教育学研究科海洋教育センター特任教授	連携会員
氷見山幸夫	北海道教育大学名誉教授	連携会員
山口しのぶ	東京工業大学環境・社会理工学院教授	連携会員

(数理科学委員会 IMU 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
-----	-----------	-----

伊藤由佳理	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 教授	第三部会員
小澤 徹	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員
齋藤 政彦	神戸大学数理・データサイエンスセンター センター長	第三部会員
小藺 英雄	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
小谷 元子	東北大学理事・副学長、理学研究科数学専攻教授、材料科学高等研究所教授	連携会員
清水 扇丈	京都大学人間・環境学研究科教授	連携会員
坪井 俊	武蔵野大学工学部特任教授	連携会員
平田 典子	日本大学理工学部教授	連携会員

(数理科学委員会数学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
伊藤由佳理	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	第三部会員
小澤 徹	早稲田大学理工学術院 教授	第三部会員
齋藤 政彦	神戸大学数理・データサイエンスセンター センター長	第三部会員
青嶋 誠	筑波大学数理物質系教授	連携会員
今井 桂子	中央大学理工学部情報工学科教授	連携会員
岡本 久	学習院大学理学部教授	連携会員
河東 泰之	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員
河原林健一	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所教授	連携会員
木村 芳文	名古屋大学多元数理科学研究科教授/日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員	連携会員
小磯 深幸	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所教授	連携会員
國府 寛司	京都大学理学研究科教授	連携会員
小藺 英雄	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
小谷 元子	東北大学理事・副学長、理学研究科数学専攻教	連携会員

	授、材料科学高等研究所教授	
斎藤 毅	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員
清水 扇丈	京都大学人間・環境学研究科 教授	連携会員
坪井 俊	武蔵野大学工学部特任教授	連携会員
中村 佳正	京都大学大学院情報学研究科教授	連携会員
真島 秀行	お茶の水女子大学名誉教授	連携会員
吉瀬 章子	筑波大学大学院システム情報系教授	連携会員
吉田 善章	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	連携会員

(数理科学委員会数理統計学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
青嶋 誠	筑波大学数理物質系教授	連携会員
朝日 弓未	東京理科大学経営学部経営学科教授	連携会員
上田 修功	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー	連携会員
北川源四郎	東京大学大学院情報理工学研究科特任教授、明治大学先端数理科学インスティテュート所員	連携会員
栗木 哲	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所教授	連携会員
小林 正人	横浜国立大学教授	連携会員
西郷 浩	早稲田大学政治経済学術院教授	連携会員
佐藤 美佳	筑波大学システム情報系教授	連携会員
下津 克己	東京大学大学院経済学研究科教授	連携会員
竹村 彰通	滋賀大学データサイエンス学部長	連携会員
椿 広計	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構・統計数理研究所 理事・統計数理研究所長 (名誉教授)	連携会員
椿 美智子	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学 専攻教授	連携会員
中西 寛子	成蹊大学名誉教授	連携会員
中村 佳正	京都大学大学院情報学研究科教授	連携会員
福重 元嗣	大阪大学大学院経済学研究科教授	連携会員

松井 知子	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所研究主幹・教授	連携会員
南 美穂子	慶應義塾大学理工学部数理科学科教授	連携会員
山下 智志	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所データ科学研究系教授	連携会員
山田 秀	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員
吉瀬 章子	筑波大学大学院システム情報系教授	連携会員
美添 泰人	一般社団法人新情報センター会長/青山学院大 学名誉教授	連携会員
渡辺美智子	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授	連携会員

(物理学委員会物性物理学・一般物理学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
川村 光	公益財団法人豊田理化学研究所フェロー	第三部会員
腰原 伸也	東京工業大学理学院化学系教授	第三部会員
森 初果	東京大学物性研究所教授、所長	第三部会員
伊藤 公平	慶應義塾大学理工学部教授	第三部会員
疇地 宏	大阪大学・名誉教授	連携会員
家 泰弘	独立行政法人日本学術振興会理事	連携会員
石坂 香子	東京大学大学院工学系研究科附属量子相エ レクトロニクス研究センター教授	連携会員
板倉 明子	国立研究開発法人物質・材料研究機構表界面物 理計測グループグループリーダー	連携会員
伊藤 公孝	中部大学先端研究センター特任教授、大学共同 利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研 究所フェロー（非常勤）・名誉教授	連携会員
植田 憲一	電気通信大学名誉教授	連携会員
香取 浩子	東京農工大学大学院工学研究院教授	連携会員
金田 行雄	名古屋大学大学院多元数理科学研究科特任教 授	連携会員
川上 則雄	京都大学大学院理学研究科教授	連携会員

倉本 義夫	東北大学名誉教授	連携会員
河野 公俊	国立研究開発法人理化学研究所創発物性科学研究センターチームリーダー	連携会員
兒玉 了祐	大阪大学レーザー科学研究所教授	連携会員
五神 真	東京大学総長	連携会員
笹尾真実子	東北大学名誉教授、同志社大学研究開発推進機構嘱託研究員	連携会員
白濱 圭也	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員
新永 浩子	鹿児島大学学術研究院理工学域理学系物理・宇宙専攻宇宙情報講座准教授	連携会員
高須 昌子	東京薬科大学生命科学部教授	連携会員
高安美佐子	東京工業大学科学技術創成研究院ビッグデータ数理科学研究ユニット教授	連携会員
瀧川 仁	東京大学物性研究所教授	連携会員
田島 節子	大阪大学名誉教授	連携会員
常行 真司	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
寺崎 一郎	名古屋大学理学研究科・教授	連携会員
所 裕子	筑波大学大学院数理物質科学研究科教授	連携会員
鳥養 映子	山梨大学名誉教授	連携会員
西野 吉則	北海道大学電子科学研究所教授	連携会員
根本 香絵	大学共同利用機関法人国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系教授	連携会員
藤澤 彰英	九州大学応用力学研究所教授	連携会員
細越 裕子	大阪府立大学大学院理学系研究科教授	連携会員
松尾由賀利	法政大学理工学部教授	連携会員
三間 罔興	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構敦賀総合研究開発センター客員研究員、大阪大学招聘教授・名誉教授	連携会員
村尾 美緒	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
吉田 善章	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	連携会員
笠 潤平	香川大学教育学部教授	連携会員
和田 元	同志社大学理工学部教授	連携会員

(物理学委員会物理教育研究分科会)

氏名	所属・職名	備考
板倉 明子	国立研究開発法人物質・材料研究機構表界面物理計測グループグループリーダー	連携会員
市川 温子	京都大学大学院理学研究科准教授、東北大学大学院理学研究科教授（クロスアポイントメント）	連携会員
岡 眞	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究部門先端基礎研究センター長	連携会員
駒宮 幸男	早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員・研究院教授	連携会員
笹尾真実子	東北大学名誉教授、同志社大学研究開発推進機構嘱託研究員	連携会員
新永 浩子	鹿児島大学学術研究院理工学域理学系物理・宇宙専攻宇宙情報講座准教授	連携会員
関口 仁子	東北大学大学院理学研究科准教授	連携会員
千葉 証司	東北大学大学院理学研究科教授	連携会員
中山 迅	宮崎大学大学院教育学研究科教授	連携会員
松尾由賀利	法政大学理工学部教授	連携会員
横山 広美	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	連携会員
笠 潤平	香川大学教育学部教授	連携会員
和田 元	同志社大学理工学部教授	連携会員
渡部 潤一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台教授	連携会員

(総合工学委員会未来社会と応用物理分科会)

氏名	所属・職名	備考
伊藤 公平	慶應義塾大学理工学部教授	第三部会員
玉田 薫	九州大学主幹教授・副学長	第三部会員
筑本 知子	中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究セン	第三部会員

	ター教授	
中野 義昭	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授	第三部会員
朝倉 薫	日本電信電話株式会社研究企画部門担当部長	連携会員
天野 浩	名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター長・教授	連携会員
荒川 泰彦	東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構特任教授	連携会員
板垣 奈穂	九州大学大学院システム情報科学研究院教授	連携会員
大野 英男	東北大学総長	連携会員
金田千穂子	東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター教授	連携会員
河田 聡	大阪大学名誉教授	連携会員
木本 恒暢	京都大学工学研究科教授	連携会員
桑野 園子	大阪大学名誉教授	連携会員
小長井 誠	東京都市大学総合研究所特任教授	連携会員
澤木 宣彦	愛知工業大学客員教授	連携会員
瀬山 倫子	日本電信電話株式会社先端集積デバイス研究所主幹研究員	連携会員
高木 信一	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
為近 恵美	横浜国立大学成長戦略研究センター教授	連携会員
寺崎 一郎	名古屋大学理学研究科教授	連携会員
富永依里子	広島大学大学院先進理工系科学研究科講師	連携会員
根本 香絵	大学共同利用機関法人報・システム研究機構国立情報学研究所教授	連携会員
納富 雅也	日本電信電話株式会社物性科学基礎研究所上席特別研究員	連携会員
橋口 公一	エムエスシーソフトウェア株式会社技術顧問、九州大学名誉教授	連携会員
波多野睦子	東京工業大学工学院電気電子系教授	連携会員
飛龍志津子	同志社大学生命医科学部医情報学科教授	連携会員
藤原 聡	日本電信電話株式会社物性科学基礎研究所量	連携会員

	子電子物性研究部長・上席特別研究員	
保立 和夫	豊田工業大学学長・教授	連携会員
堀 勝	名古屋大学未来社会創造機構教授	連携会員
松尾由賀利	法政大学理工学部教授	連携会員
三間 囿興	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀総合研究開発センター客員研究員、大阪大 学招聘教授・名誉教授	連携会員
森 勇介	大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学 専攻教授	連携会員
渡辺美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事・ダ イバーシティ推進室室長	連携会員

(総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
高田 保之	九州大学大学院工学研究院機械工学部門・教授	第三部会員
朝倉 薫	日本電信電話株式会社 研究企画部門担当部 長	連携会員
疇地 宏	大阪大学名誉教授	連携会員
伊藤 公孝	中部大学先端研究センター特任教授、大学共同 利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研 究所フェロー（非常勤）・名誉教授	連携会員
犬竹 正明	東北大学名誉教授	連携会員
岩城智香子	東芝エネルギーシステムズ株式会社エネルギ ーシステム技術開発センターシニアフェロー	連携会員
大久保泰邦	一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構 技術参与	連携会員
大野 恵美	株式会社 IHI 資源・エネルギー・環境事業領域 ボイラ S B U 技術センター基本設計部技術グ ループ担当部長	連携会員
兒玉 了祐	大阪大学レーザー科学研究所長	連携会員
近藤 駿介	原子力発電環境整備機構理事長	連携会員
齋藤 公児	日本製鉄株式会社フェロー（執行役員待遇）	連携会員

笹尾真実子	東北大学大学院名誉教授、同志社大学研究開発推進機構嘱託研究員	連携会員
鈴置 保雄	愛知工業大学工学部教授	連携会員
柘植 綾夫	公益社団法人日本工学会顧問・元会長	連携会員
藤田 修	北海道大学大学院工学研究院教授	連携会員
三間 圀興	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構敦賀総合研究開発センター客員研究員、大阪大学招聘教授・名誉教授	連携会員
宮崎久美子	立命館アジア太平洋大学国際経営学部教授、東京工業大学名誉教授	連携会員
矢川 元基	公益財団法人原子力安全研究協会会長、東京大学名誉教授、東洋大学名誉教授	連携会員
山地 憲治	公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE) 副理事長・研究所長	連携会員
和田 元	同志社大学理工学部教授	連携会員

(機械工学委員会機械工学企画分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
大島 まり	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授	第三部会員
金子 真	名城大学理工学研究科教授	第三部会員
須藤 雅子	ファナック株式会社研究開発推進支援本部本部長補佐(兼)FA事業本部事業本部長補佐	第三部会員
高田 保之	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授	第三部会員
俣野 茂	独立行政法人国立高等専門学校機構理事、函館工業高等専門学校学校長、北海道大学名誉教授	第三部会員
菱田 公一	明治大学研究・知財戦略機構特任教授	第三部会員
光石 衛	東京大学大学執行役副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員
宮崎 恵子	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所国際連携センター副センター長	第三部会員

吉村 忍	東京大学副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員
------	---------------------	-------

(機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同理論応用力学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大島 まり	東京大学大学院情報学環／生産技術研究所教授	第三部会員
高田 保之	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授	第三部会員
俣野 茂	独立行政法人国立高等専門学校機構理事、函館工業高等専門学校学校長、北海道大学名誉教授	第三部会員
菱田 公一	明治大学研究・知財戦略機構特任教授	第三部会員
前川 宏一	横浜国立大学都市イノベーション研究院都市地域社会専攻教授	第三部会員
吉村 忍	東京大学副学長、東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授	第三部会員
荒木 稚子	埼玉大学大学院理工学研究科人間支援・生産科学部門 教授	連携会員
風間 基樹	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授	連携会員
梶島 岳夫	大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻教授	連携会員
金田 行雄	名古屋大学大学院多元数理科学研究科特任教授	連携会員
亀田 正治	東京農工大学大学院工学研究院先端機械システム部門教授	連携会員
岸本喜久雄	東京工業大学名誉教授、国立研究開発法人エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター長	連携会員
北村 隆行	京都大学理事・副学長、京都大学名誉教授	連携会員
木村 芳文	名古屋大学多元数理科学研究科教授	連携会員
近藤智恵子	長崎大学大学院工学研究科教授	連携会員
塩見淳一郎	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授	連携会員
渋谷 陽二	大阪大学大学院工学研究科教授	連携会員

高木 周	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
竹脇 出	京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授	連携会員
塚田 竹美	株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター統合制御開発室 AD ブロック 研究員	連携会員
新野 宏	東京大学名誉教授	連携会員
福本 康秀	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所教授	連携会員
藤井 孝藏	東京理科大学工学部情報工学科教授	連携会員
堀 宗朗	国立研究開発法人海洋研究開発機構部門長	連携会員
松尾亜紀子	慶應義塾大学理工学部機械工学科教授	連携会員
水野 毅	埼玉大学大学院理工学研究科人間支援・生産科学部門 教授	連携会員
緑川 光正	国立研究開発法人建築研究所理事長、北海道大学名誉教授	連携会員
山西 陽子	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授	連携会員

(機械工学委員会・基礎医学委員会・電気電子工学委員会・材料工学委員会合同生体医工学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大島 まり	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授	第三部会員
金子 真	名城大学理工学研究科教授	第三部会員
俎野 茂	独立行政法人国立高等専門学校機構理事、函館工業高等専門学校学校長、北海道大学名誉教授	第三部会員
光石 衛	東京大学大学執行役副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員
埴 隆夫	東京医科歯科大学生体材料工学研究所教授	第三部会員
石川 拓司	東北大学大学院工学研究科教授	連携会員
石原 一彦	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
岸田 晶夫	東京医科歯科大学生体材料工学研究所教授	連携会員
厨川 常元	東北大学大学院医工学研究科長・教授	連携会員
西條 芳文	東北大学大学院医工学研究科教授	連携会員
高木 周	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
田中 真美	東北大学大学院医工学研究科教授	連携会員

中野 貴由	大阪大学大学院工学研究科教授	連携会員
増澤 徹	茨城大学大学院理工学研究科研究科長・機械システム工学領域教授	連携会員
松本 健郎	名古屋大学大学院工学研究科教授	連携会員
松本洋一郎	東京理科大学学長	連携会員
圓山 重直	八戸工業高等専門学校校長	連携会員
山西 陽子	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授	連携会員
和田 成生	大阪大学大学院基礎工学研究科教授	連携会員

(機械工学委員会機械工学の将来展望分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大島 まり	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授	第三部会員
須藤 雅子	ファナック株式会社研究開発推進支援本部本部長補佐(兼)FA事業本部事業本部長補佐	第三部会員
菱田 公一	明治大学研究・知財戦略機構特任教授	第三部会員
光石 衛	東京大学大学執行役副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員
吉村 忍	東京大学副学長・大学院工学系研究科教授	第三部会員
伊藤 宏幸	ダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンターリサーチコーディネーター	連携会員
大竹 尚登	東京工業大学科学技術創成研究院未来産業技術研究所所長・教授	連携会員
大野 恵美	株式会社IHI 資源・エネルギー・環境事業領域ボイラ SBU 技術センター基本設計部技術グループ担当部長	連携会員
川田 宏之	早稲田大学基幹理工学術院機械科学・航空宇宙学科教授	連携会員
岸本喜久雄	東京工業大学名誉教授	連携会員
北村 隆行	京都大学理事・副学長、京都大学名誉教授	連携会員
佐々木直哉	株式会社日立製作所研究開発グループ技師長	連携会員
佐田 豊	株式会社東芝執行役員、研究開発センター所長	連携会員
塩見淳一郎	東京大学大学院工学研究科機械工学専攻教授	連携会員
高木 周	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員

高松 洋	九州大学大学院工学研究院教授	連携会員
武仲 能子	国立研究開発法人産業技術総合研究所機能化学研究部門主任研究員	連携会員
松本 健郎	名古屋大学大学院工学研究科 教授	連携会員
山西 陽子	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
天野 玲子	国立研究開発法人防災科学技術研究所審議役、 国立研究開発法人国立環境研究所監事	連携会員
池田 駿介	株式会社建設技術研究所研究顧問	連携会員
大原 美保	国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター主任研究員	連携会員
岡部 聡	北海道大学大学院工学研究院教授	連携会員
小松 利光	九州大学名誉教授	連携会員
小森 大輔	東北大学大学院環境科学研究科准教授	連携会員
清水 義彦	群馬大学大学院理工学府教授	連携会員
田井 明	九州大学工学研究院准教授	連携会員
田村 和夫	建築都市耐震研究所代表	連携会員
田村 圭子	新潟大学危機管理本部危機管理室教授	連携会員
塚原 健一	九州大学大学院工学研究院教授	連携会員
永野 正行	東京理科大学理工学部教授	連携会員
持田 灯	東北大学大学院工学研究科教授	連携会員
望月 常好	一般財団法人経済調査会顧問、公益社団法人日本河川協会参与	連携会員
安福 規之	九州大学大学院工学研究院教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同脱炭素社会分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
田辺 新一	早稲田大学創造理工学部教授	第三部会員
伊香賀俊治	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学	連携会員

	科教授	
上野佳奈子	明治大学理工学部建築学科専任教授	連携会員
大岡 龍三	東京大学生産技術研究所教授	連携会員
加藤 信介	東京大学特命教授室特任教授	連携会員
菊地 優	北海道大学大学院工学研究院建築都市部門教授	連携会員
下田 吉之	大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻教授	連携会員
都築 和代	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授	連携会員
萩島 理	九州大学大学院総合理工学研究院教授	連携会員
羽山 広文	北海道大学大学院工学研究院特任教授	連携会員
森口 祐一	国立研究開発法人国立環境研究所理事、東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
持田 灯	東北大学大学院工学研究科教授	連携会員
山本佳世子	電気通信大学 大学院情報理工学研究科教授	連携会員
吉野 博	東北大学名誉教授、秋田県立大学客員教授、前橋工科大学客員教授	連携会員
渡邊 朗子	東洋大学情報連携学部情報連携学科教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会インフラ高度化分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小林 潔司	京都大学名誉教授、京都大学大学院経営管理研究部特任教授	第三部会員
小池 俊雄	国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (I CHARM) センター長、東京大学名誉教授、政策研究大学院大学連携教授	第三部会員
天野 玲子	国立研究開発法人防災科学技術研究所審議役、国立研究開発法人国立環境研究所監事	連携会員
安福 規之	九州大学大学院工学研究院社会基盤部門教授	連携会員
小野 潔	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
小松 利光	九州大学名誉教授	連携会員

小峯 秀雄	早稲田大学創造理工学部社会環境工学科教授	連携会員
高橋 良和	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授	連携会員
竹脇 出	京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授	連携会員
多々納裕一	京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授	連携会員
那須 清吾	高知工科大学学長特別補佐	連携会員
西嶋 一欽	京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門准教授	連携会員
花木 啓祐	東洋大学情報連携学部教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会都市・地域デザインの多様なアプローチ分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
池邊このみ	千葉大学大学院園芸学研究科教授	第二部会員
佐々木 葉	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員
赤松佳珠子	法政大学デザイン工学部建築学科教授、株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ代表取締役	連携会員
伊藤 香織	東京理科大学理工学部建築学科教授	連携会員
小野 悠	豊橋技術科学大学大学院工学研究科講師	連携会員
神吉紀世子	京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授	連携会員
斎尾 直子	東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授	連携会員
坂井 文	東京都市大学都市生活学部教授	連携会員
田井 明	九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授	連携会員
竹内 徹	東京工業大学建築学系教授	連携会員
船水 尚行	室蘭工業大学理事・副学長	連携会員
古谷 誠章	早稲田大学創造理工学部建築学科教授	連携会員
増田 聡	東北大学大学院経済学研究科教授	連携会員
南 一誠	芝浦工業大学建築学部建築学科教授	連携会員
三輪 律江	横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース准教授	連携会員

村上 暁信	筑波大学システム情報系教授	連携会員
山田あすか	東京電機大学未来科学部建築学科教授	連携会員
山本佳世子	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会・情報学委員会・総合工学委員会合同 WFE0 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
岸本喜久雄	東京工業大学名誉教授	連携会員
小松 利光	九州大学名誉教授	連携会員
塚原 健一	九州大学工学研究院教授	連携会員
那須 清吾	高知工科大学学長特別補佐	連携会員
山本佳世子	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授	連携会員

(土木工学・建築学委員会感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
佐々木 葉	早稲田大学理工学術院教授	第三部会員
前川 宏一	横浜国立大学都市イノベーション研究院都市地域社会専攻教授	第三部会員
赤松佳珠子	法政大学デザイン工学部建築学科教授、株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ代表取締役	連携会員
伊香賀俊治	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授	連携会員
伊藤 香織	東京理科大学理工学部建築学科教授	連携会員
大岡 龍三	東京大学生産技術所教授	連携会員
小野 悠	豊橋技術科学大学大学院工学研究科講師	連携会員
斎尾 直子	東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授	連携会員
齊藤 大樹	豊橋技術科学大学建築・都市システム学系教授	連携会員
定行まり子	日本女子大学家政学部住居学科教授	連携会員
高橋 良和	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授	連携会員

竹内 徹	東京工業大学建築学系教授	連携会員
竹脇 出	京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授	連携会員
田村 和夫	建築都市耐震研究所代表	連携会員
増田 聡	東北大学大学院経済学研究科教授	連携会員
緑川 光正	国立研究開発法人建築研究所理事長、北海道大学名誉教授	連携会員
南 一誠	芝浦工業大学建築学部建築学科教授	連携会員
三輪 律江	横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース准教授	連携会員
望月 常好	一般財団法人経済調査会顧問、公益社団法人日本河川協会参与	連携会員
山本佳世子	電気通信大学大学院情報理工学研究科教授	連携会員
渡邊 朗子	東洋大学情報連携学部情報連携学科教授	連携会員

(材料工学委員会バイオマテリアル分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
塙 隆夫	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授・神戸大学未来医工学研究開発センター特命教授	第三部会員
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科教授	連携会員
石原 一彦	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
宇尾 基弘	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授	連携会員
大矢根綾子	国立研究開発法人産業技術総合研究所ナノ材料研究部門上級主任研究員	連携会員
春日 敏宏	名古屋工業大学大学院工学研究科教授	連携会員
片岡 一則	公益財団法人川崎市産業振興財団副理事長、ナノ医療イノベーションセンターセンター長	連携会員
菊池 明彦	東京理科大学基礎工学部教授	連携会員
岸田 晶夫	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授	連携会員
田畑 泰彦	京都大学ウイルス再生医科学研究科教授	連携会員
中野 貴由	大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科	連携会員

	学専攻教授	
丸山 厚	東京工業大学生命理工院教授	連携会員

(材料工学委員会材料工学将来展開分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
尾崎由紀子	九州大学大学院工学研究院材料工学部門教授	第三部会員
岸本 康夫	J F E スチール株式会社研究所研究技監	第三部会員
榎 学	東京大学大学院教授	連携会員
大野 宗一	北海道大学大学院工学研究院教授	連携会員
杉本 諭	東北大学副理事・東北大学大学院工学研究科教授	連携会員
須山 章子	東芝エネルギーシステムズ株式会社エネルギーシステム技術開発センターシニアエキスパート	連携会員
御手洗容子	東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系選考教授	連携会員
吉瀬 章子	筑波大学大学院システム情報系教授	連携会員

(材料工学委員会新材料科学検討分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
山口 周	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構特任教授	第三部会員
岸本 康夫	J F E スチール株式会社スチール研究所研究技監	第三部会員
伊藤 耕三	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	連携会員
梅津 理恵	東北大学金属材料研究所教授	連携会員
大竹 尚登	東京工業大学工学院教授・副学長（研究企画担当）	連携会員
河村 能人	熊本大学先進マグネシウム国際研究センター長	連携会員
小谷 元子	東北大学理事・副学長	連携会員
小林 定之	東レ株式会社化成品研究所研究主幹	連携会員

小山 敏幸	名古屋大学大学院工学研究科教授	連携会員
佐々木高義	国立研究開発法人物質・材料研究機構フェロー	連携会員
高田 昌樹	東北大学多元物質科学研究所国際放射光イノベーション・スマート研究センター教授	連携会員
高梨 弘毅	東北大学教授	連携会員
常行 真司	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
鶴見 敬章	東京工業大学物質理工学院材料系教授	連携会員
寺崎 一郎	名古屋大学理学研究科教授	連携会員
時任 静士	山形大学有機エレクトロニクス研究センター長、卓越研究教授	連携会員
中野 貴由	大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻教授	連携会員
細野 秀雄	東京工業大学栄誉教授・特命教授、元素戦略研究センター長	連携会員
山内 美穂	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所教授	連携会員

(材料工学委員会 材料工学ロードマップのローリング分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
筑本 知子	中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授	第三部会員
塙 隆夫	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授、神戸大学未来医工学研究開発センター特命教授	第三部会員
石坂 香子	東京大学大学院工学系研究科附属量子相エレクトロニクス研究センター教授	連携会員
石原 一彦	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
大矢根綾子	国立研究開発法人産業技術総合研究所ナノ材料研究部門上級主任研究員	連携会員
岸田 晶夫	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所教授	連携会員
小出 康夫	国立研究開発法人物質・材料研究機構理事	連携会員
寺崎 一郎	名古屋大学理学研究科教授	連携会員

時任 静士	山形大学有機エレクトロニクス研究センター 長・卓越研究教授	連携会員
中野 貴由	大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科 学専攻教授	連携会員
波多野睦子	東京工業大学工学院電気電子系教授	連携会員
松宮 徹	大阪電気通信大学監事	連携会員

○委員の決定（追加 39 件）

（哲学委員会いのちと心を考える分科会）

氏名	所属・職名	備考
建石真公子	法政大学法学部教授	連携会員

（心理学・教育学委員会 排除・包摂と教育分科会）

氏名	所属・職名	備考
浅井 幸子	東京大学大学院教育学研究科准教授	連携会員
河野 銀子	山形大学学術研究院教授	連携会員
北村 友人	東京大学大学院教育学研究科准教授	連携会員
近藤 孝弘	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	連携会員
坂井 俊樹	開智国際大学教育学部教育学部長・教授	連携会員
恒吉 僚子	東京大学大学院教育学研究科教授	連携会員
中坪 史典	広島大学大学院人間社会科学研究科准教授	連携会員
西岡加名恵	京都大学大学院教育学研究科教授	連携会員
浜田 博文	筑波大学人間系（教育学域）教授	連携会員
湯川嘉津美	上智大学総合人間科学部教授	連携会員

（心理学・教育学委員会脳と意識分科会）

氏名	所属・職名	備考
柏野 牧夫	日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー・柏野多様脳特別研究室長	連携会員
川合 伸幸	名古屋大学情報学研究科教授	連携会員
齊藤 智	京都大学大学院教育学研究科教授	連携会員
高橋 英彦	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学主任教授	連携会員
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）教授	連携会員
渡部 文子	東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター	連携会員

	臨床医学研究所教授	
--	-----------	--

(心理学・教育学委員会高大接続を考える分科会)

氏名	所属・職名	備考
岡本 智周	早稲田大学文学学術院教授	連携会員
河野 銀子	山形大学学術研究院教授	連携会員
吉川 徹	大阪大学大学院人間科学研究科教授	連携会員
小山 正孝	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	連携会員
近藤 孝弘	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	連携会員
坂井 俊樹	開智国際大学教育学部教育学部長・教授	連携会員
中山 迅	宮崎大学大学院教育学研究科教授	連携会員
西岡加名恵	京都大学大学院教育学研究科教授	連携会員
本田 由紀	東京大学大学院教育学研究科教授	連携会員
松浦 良充	慶應義塾大学文学部教授	連携会員
山田 礼子	同志社大学社会学部教授	連携会員
渡邊 雅子	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授	連携会員

(心理学・教育学委員会心の研究将来構想分科会)

氏名	所属・職名	備考
村上 郁也	東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室教授	連携会員

(社会学委員会ジェンダー研究分科会)

氏名	所属・職名	備考
高橋 裕子	津田塾大学学長・教授	第一部会員
池田 恵子	静岡大学教育学部学校教育教員養成課程初等学習開発学専攻教授	連携委員
岩瀬 峰代	島根大学教育・学生支援機構大学教育センター准教授	連携委員
海妻 径子	岩手大学人文社会科学部教授	連携委員
木本喜美子	法政大学大学院フェアレイバー研究所特任研	連携委員

	究員、一橋大学名誉教授	
内藤 忍	独立行政法人労働政策研究・研修機構副主任研究員	連携委員
皆川満寿美	中央学院大学現代教養学部准教授	連携委員

(社会学委員会 Web 調査の課題に関する検討分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大谷 信介	関西学院大学社会学部教授	連携会員

(史学委員会中高大歴史教育に関する分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
石居 人也	一橋大学大学院社会学研究科教授	連携会員
大橋 幸泰	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	連携会員
小嶋 茂稔	東京学芸大学副学長・教育学部教授	連携会員
都丸 潤子	早稲田大学政治経済学術院教授	連携会員

(地域研究委員会地域研究基盤強化分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
森本 泉	明治学院大学国際学部教授	連携会員
横山 智	名古屋大学大学院環境学研究科教授	連携会員

(地域研究委員会文化人類学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
湖中 真哉	静岡県立大学国際関係学部教授	連携会員

(地域研究委員会多文化共生分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
河合 幹雄	桐蔭横浜大学法学部教授・副学長	連携会員
鈴木 茂	名古屋外国語大学世界共生学部教授	連携会員
森本 泉	明治学院大学国際学部教授	連携会員

(地域研究委員会アジアの地域協力の学術的ネットワーク構築分科会分科会)

氏名	所属・職名	備考
三重野文晴	京都大学東南アジア地域研究研究所教授	連携会員

(法学委員会法曹養成と学術法制分科会)

氏名	所属・職名	備考
高山佳奈子	京都大学大学院法学研究科教授	第一部会員
三成賢次	大阪大学理事・副学長	第一部会員
石田京子	早稲田大学大学院法務研究科教授	連携会員
岩谷十郎	慶應義塾大学法学部長	連携会員
岡田正則	早稲田大学大学院法務研究科教授	連携会員
田口正樹	東京大学法学政治学研究科教授	連携会員
中山竜一	大阪大学大学院法学研究科長・法学部長	連携会員
新田一郎	東京大学大学院法学政治学研究科教授	連携会員
橋本祐子	龍谷大学法学部法律学科教授	連携会員
林真貴子	近畿大学法学部教授	連携会員
平山真理	白鷗大学法学部教授	連携会員
松尾陽	名古屋大学法政国際教育協力研究センター副センター長・教授	連携会員
丸谷浩介	九州大学大学院法学研究院教授	連携会員

(法学委員会セーフティネットと法分科会)

氏名	所属・職名	備考
川嶋四郎	同志社大学法学部教授	第一部会員
有田謙司	西南学院大学法学部教授	連携会員
秋元美世	東洋大学社会学部教授	連携会員
廣瀬真理子	放送大学客員教授	連携会員
本庄武	一橋大学大学院法学研究科教授	連携会員
糠塚康江	東北大学名誉教授	連携会員
内藤忍	独立行政法人労働政策研究・研修機構副主任研究員	連携会員

丸谷 浩介	九州大学大学院法学研究院教授	連携会員
橋本 祐子	龍谷大学法学部教授	連携会員
岩永 理恵	日本女子大学人間社会学部准教授	連携会員
只野 雅人	一橋大学大学院法学研究科教授	連携会員
魚住 明代	城西国際大学人文学部教授	連携会員
片桐 由喜	小樽商科大学商学部教授	連携会員
笠井 修	中央大学法科大学院教授	連携会員
豊島 明子	南山大学大学院法務研究科教授	連携会員
矢野 昌浩	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員

(法学委員会生殖補助医療と法分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小浜 正子	日本大学文理学部教授	連携会員
三宅 秀彦	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授	連携会員

(法学委員会リスク社会と法分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
千葉恵美子	大阪大学大学院高等司法研究科教授	連携会員
窪田 充見	神戸大学大学院法学研究科教授	連携会員
中山 竜一	大阪大学大学院法学研究科長・法学部長	連携会員
林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科教授、同アジア共創教育研究機構教授（学内兼任）	連携会員
高村 学人	立命館大学政策科学部教授	連携会員
平山 真理	白鷗大学法学部教授	連携会員

(経済学委員会・環境学委員会合同フューチャー・デザイン分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
栗山 浩一	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員
香坂 玲	名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専	連携会員

	攻環境政策論講座教授	
--	------------	--

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会合同植物科学分科会)

氏名	所属・職名	備考
上田 貴志	大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所細胞生物学領域教授	連携会員
遠藤 求	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究領域教授	連携会員
大谷美沙都	東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授	連携会員
加藤美砂子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授	連携会員
川井 浩史	神戸大学自然科学系先端融合研究環内海域環境教育研究センター教授	連携会員
川合 真紀	埼玉大学理工学研究科教授	連携会員
河野 重行	東京大学名誉教授、東京大学フューチャーセンター推進機構・特任研究員	連携会員
河内 孝之	京都大学生命科学研究科教授	連携会員
榊原 均	名古屋大学大学院生命農学研究科教授	連携会員
坂本 亘	岡山大学資源植物科学研究所教授	連携会員
佐々木成江	名古屋大学大学院理学研究科准教授	連携会員
杉本 慶子	国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センターチームリーダー	連携会員
高野 博嘉	熊本大学大学院先端科学研究部教授	連携会員
田畑 哲之	公益財団法人かずさ DNA 研究所副理事長・所長	連携会員
塚谷 裕一	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授・東京大学名誉教授	連携会員
西谷 和彦	神奈川大学理学部教授／東北大学名誉教授	連携会員
東山 哲也	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授	連携会員
久堀 徹	東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科	連携会員

	学研究所教授	
福田 裕穂	東京大学理事・副学長・未来ビジョン研究センター特任教授	連携会員
村中 俊哉	大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻教授	連携会員
森田 美代	大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所細胞生物学領域教授	連携会員
村上 哲明	東京都立大学理学研究科教授	連携会員
丸山 明子	九州大学農学研究院准教授	連携会員

(統合生物学委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
池邊このみ	千葉大学大学院園芸学研究科教授	第二部会員

(統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同ワイルドライフサイエンス分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大沼あゆみ	慶應義塾大学経済学部教授	連携会員

(統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
高倉 浩樹	東北大学東北アジア研究センター教授	第一部会員
馬場 悠男	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館名誉研究員	連携会員
松本 直子	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	連携会員
山越 言	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授	連携会員

(農学委員会林学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
栗山 浩一	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員

(食料科学委員会水産学分科会)

氏名	所属・職名	備考
窪川かおる	東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター特任教授	連携会員

(食料科学委員会・農学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会)

氏名	所属・職名	備考
小山 良太	福島大学食農学類教授	連携会員
関谷 直也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授	連携会員
本間 香貴	東北大学大学院農学研究科教授	連携会員

(臨床医学委員会脳とこころ分科会)

氏名	所属・職名	備考
積山 薫	京都大学大学院総合生存学館教授	連携会員

(臨床医学委員会放射線・臨床検査・病理分科会)

氏名	所属・職名	備考
中山 智祥	日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野教授	連携会員

(健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会)

氏名	所属・職名	備考
柏野 牧夫	日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー・柏野多様脳特別研究室長	連携会員

(健康・生活科学委員会・臨床医学委員会合同少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会)

氏名	所属・職名	備考
山田あすか	東京電機大学未来科学部建築学科教授	連携会員

(薬学委員会化学・物理系薬学分科会)

氏名	所属・職名	備考
武田真莉子	神戸学院大学薬学部教授	連携会員

(環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会)

氏名	所属・職名	備考
小野 恭子	国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門主任研究員	連携会員

(数理科学委員会)

氏名	所属・職名	備考
小藺 英雄	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
小谷 元子	東北大学理事・副学長、理学研究科数学専攻教授、材料科学高等研究所教授	連携会員
河原林健一	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所教授	連携会員
木村 芳文	名古屋大学多元数理科学研究科教授/日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員	連携会員
清水 扇丈	京都大学人間・環境学研究科 教授	連携会員

(数理科学委員会数学教育分科会)

氏名	所属・職名	備考
徳山 豪	関西学院大学理工学部教授	第三部会員
椿 美智子	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻教授	連携会員

(情報学委員会環境知能分科会)

氏名	所属・職名	備考
稲見 昌彦	東京大学先端科学技術研究センター教授	連携会員
中野有紀子	成蹊大学理工学部情報科学科教授	連携会員
南澤 孝太	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	連携会員

	教授	
--	----	--

(総合工学委員会)

氏名	所属・職名	備考
西尾チヅル	筑波大学ビジネスサイエンス系教授	第一部会員
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
岡本 裕巳	大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所教授	第三部会員
岸本 康夫	JFE スチール株式会社スチール研究所研究技監	第三部会員
荒川 泰彦	東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構特任教授	連携会員
伊藤 恵理	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所電子航法研究所主幹研究員	連携会員
金田千穂子	東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター教授	連携会員
小長井 誠	東京都市大学総合研究所特任教授	連携会員
柴田 徳思	株式会社千代田テクノ大洗研究所所長、東京大学名誉教授、高エネルギー加速器研究機構名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授	連携会員
鈴木 真二	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授	連携会員
須田 義大	東京大学生産技術研究所教授、次世代モビリティ研究センター長	連携会員
竹田 敏一	福井大学附属国際原子力工学研究所特任教授	連携会員
田中 覚	立命館大学情報理工学部教授	連携会員
為近 恵美	横浜国立大学成長戦略研究センター教授	連携会員
野口 和彦	横浜国立大学 IAS リスク共生社会創造センター客員教授	連携会員
萩原 一郎	明治大学研究・知財戦略機構特任教授、東京工業大学名誉教授	連携会員
平田 貞代	芝浦工業大学准教授	連携会員
藤代 一成	慶應義塾大学理工学部情報工学科教授	連携会員
藤原 聡	日本電信電話株式会社物性科学基礎研究所量子	連携会員

	電子物性研究部長・上席特別研究員	
松尾由賀利	法政大学理工学部教授	連携会員
松岡 猛	宇都宮大学地域創生推進機構宇大アカデミー非常勤講師	連携会員
矢川 元基	公益財団法人原子力安全研究協会会長、東京大学名誉教授、東洋大学名誉教授	連携会員
山地 憲治	公益財団法人地球環境産業技術研究機構副理事長・研究所長	連携会員
渡辺美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事・ダイバーシティ推進室室長	連携会員

(総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
伊藤 宏幸	ダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンターリサーチコーディネーター	連携会員
大林 茂	東北大学流体科学研究所教授	連携会員
佐宗 章弘	名古屋大学副総長・教授	連携会員
柘植 綾夫	日本工学会元会長・顧問	連携会員

(総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
坂本 真樹	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻教授・副学長	連携会員

(総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
伊藤 貴之	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授	連携会員
大林 茂	東北大学流体科学研究所教授	連携会員
南澤 孝太	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授	連携会員

(機械工学委員会)

氏名	所属・職名	備考
足立 幸志	東北大学大学院工学研究科機械機能創成専攻教授	連携会員
新井 民夫	技術研究組国際廃炉研究開発機構副理事長	連携会員
荒木 稚子	埼玉大学大学院理工学研究科教授	連携会員
有信 睦弘	東京大学大学執行役・副学長	連携会員
池浦 良淳	三重大学大学院工学研究科機械工学専攻教授	連携会員
石川 拓司	東北大学大学院工学研究科ファインメカニクス専攻教授	連携会員
伊藤 宏幸	ダイキン工業株式会社テクノロジーイノベーションセンターリサーチコーディネーター	連携会員
岩城智香子	東芝エネルギーシステムズ株式会社エネルギーシステム技術開発センターシニアフェロー	連携会員
岩附 信行	東京工業大学教授	連携会員
岩渕 明	岩手大学学長	連携会員
遠藤 勝義	大阪大学大学院工学研究科附属超精密科学研究センター教授	連携会員
大竹 尚登	東京工業大学工学院教授・副学長（研究企画担当）	連携会員
大野 恵美	株式会社 IHI 資源・エネルギー・環境事業領域ボイラ SBU 技術センター基本設計部技術グループ担当部長	連携会員
大林 茂	東北大学流体科学研究所教授	連携会員
岡崎 健	東京工業大学科学技術創生研究院グローバル水素エネルギー研究ユニット特命教授	連携会員
梶島 岳夫	大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻教授	連携会員
柏木 孝夫	東京工業大学特命教授・名誉教授	連携会員
金子 成彦	早稲田大学理工学術院国際理工学センター教授	連携会員
亀田 正治	東京農工大学大学院工学研究院先端機械システム部門教授	連携会員
鎌田 実	一般財団法人日本自動車研究所代表理事・研究	連携会員

	所長	
河合 宗司	東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻准教授	連携会員
川田 宏之	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
岸本喜久雄	東京工業大学名誉教授	連携会員
北村 隆行	京都大学理事・副学長・名誉教授	連携会員
厨川 常元	東北大学大学院医工学研究科教授	連携会員
越塚 誠一	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授	連携会員
近藤智恵子	長崎大学大学院工学研究科教授	連携会員
佐々木直哉	株式会社日立製作所研究開発グループ技師長	連携会員
佐宗 章弘	名古屋大学副総長・教授	連携会員
佐田 豊	株式会社東芝執行役員・研究開発センター所長	連携会員
佐藤 勲	東京工業大学工学院機械系教授	連携会員
榎木 哲夫	京都大学教授	連携会員
塩見淳一郎	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授	連携会員
渋谷 陽二	大阪大学大学院工学研究科教授	連携会員
庄子 哲雄	東北大学未来科学技術共同研究センターフロンティア研究イニシャティブ教授	連携会員
新野 秀憲	東京工業大学未来産業技術研究所教授	連携会員
鈴木 真二	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授	連携会員
鈴木 宏正	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
須田 義大	東京大学生産技術研究所教授、次世代モビリティ研究センター長	連携会員
高木 周	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
高松 洋	九州大学大学院工学研究院長・教授	連携会員
武仲 能子	国立研究開発法人産業技術総合研究所機能化学研究部門主任研究員	連携会員
田中 和博	九州工業大学非常勤講師	連携会員
田中 真美	東北大学大学院医工学研究科教授	連携会員
塚田 竹美	株式会社本田技術研究所四輪R & Dセンター統合制御開発室ADブロック研究員	連携会員

柘植 綾夫	日本工学会元会長・顧問	連携会員
永井 正夫	一般財団法人日本自動車研究所顧問、東京農工大学名誉教授	連携会員
萩原 一郎	明治大学研究知財戦略機構・特任教授、東京業大学名誉教授	連携会員
橋口 公一	エムエスシーソフトウェア株式会社技術顧問、九州大学名誉教授	連携会員
花村 克悟	東京工業大学工学院教授	連携会員
福山満由美	株式会社日立製作所研究開発グループ技術戦略室技術統括センター長	連携会員
藤井 孝藏	東京理科大学工学部情報工学科教授	連携会員
藤田 修	北海道大学大学院教授	連携会員
増澤 徹	茨城大学大学院理工学研究科長・教授・工学部長	連携会員
松尾亜紀子	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員
松田三知子	一般財団法人日本規格協会・フェロー	連携会員
松本 健郎	名古屋大学大学院工学研究科教授	連携会員
松本洋一郎	東京理科大学学長	連携会員
圓山 重直	八戸工業高等専門学校校長、東北大学名誉教授・客員教授	連携会員
水野 毅	埼玉大学大学院理工学研究科教授	連携会員
宗像 鉄雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所エネルギー・環境領域省エネルギー研究部門長	連携会員
森下 信	横浜国立大学大学院環境情報研究員教授	連携会員
矢川 元基	公益財団法人原子力安全研究協会会長、東京大学名誉教授、東洋大学名誉教授	連携会員
柳本 潤	東京大学生産技術研究所教授	連携会員
矢部 彰	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター フェロー	連携会員
山西 陽子	九州大学大学院工学研究院機械工学部門教授	連携会員
吉田 英生	京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻教授	連携会員

和田 成生	大阪大学大学院基礎工学研究科教授	連携会員
-------	------------------	------

(材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同分科会 SDG s のための資源・材料の循環使用検討分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
岡村 好子	広島大学大学院統合生命科学研究科教授	連携会員

【小委員会】

○委員の決定（新規 12 件）

（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 CliC 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
東 久美子	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所教授	連携会員
阿部 彩子	東京大学大気海洋研究所教授	連携会員

（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 CLIVAR 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
阿部 彩子	東京大学大気海洋研究所教授	連携会員
江守 正多	国立環境研究所 地球環境研究センター副研究 センター長	連携会員
中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター副所長・教 授	連携会員

（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 Future Earth
Coasts 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
齋藤 文紀	島根大学エスチュアリー研究センターセンター 長・教授	連携会員

（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 GEWEX 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
高薮 縁	東京大学大気海洋研究所教授、副所長	連携会員

（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 GLP 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
春山 成子	三重大学名誉教授	第三部会員
大黒 俊哉	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員

近藤 昭彦	千葉大学環境リモートセンシング研究センター 教授	連携会員
氷見山幸夫	北海道教育大学名誉教授	連携会員

(環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 IGAC 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
植松 光夫	埼玉県環境科学国際センター総長	連携会員
張 勁	富山大学学術研究部理学系教授	連携会員

(環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 iLEAPS 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
三枝 信子	国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究 センターセンター長	第三部会員
熊谷 朝臣	東京大学大学院農学生命科学研究森林科学専攻 教授	連携会員
谷 晃	静岡県立大学食品栄養科学部教授	連携会員

(環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 IMBeR 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
古谷 研	創価大学大学院理工学研究科教授	第二部会員
原田 尚美	国立研究開発法人海洋研究開発機構センター長	連携会員
八木 信行	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員

(環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 PAGES 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
阿部 彩子	東京大学大気海洋研究所教授	連携会員
齋藤 文紀	島根大学エスチュアリー研究センターセンター 長・教授	連携会員
長谷部 徳子	金沢大学環日本海域環境研究センター教授	連携会員

(環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 SOLAS 小委員会)

氏名	所属・職名	備考
植松 光夫	埼玉県環境科学国際センター総長	連携会員
張 勁	富山大学大学院理工学研究部教授	連携会員
原田 尚美	国立研究開発法人海洋研究開発機構センター長	連携会員

(環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 SPARC 小委員会)

氏名	所属・職名	備考
佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員

(環境学委員会環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会)

氏名	所属・職名	備考
大塚 直	早稲田大学法学部教授	第一部会員
高村 ゆかり	東京大学未来ビジョン研究センター教授	第一部会員
馬奈木 俊介	九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座教授	第一部会員
池邊 このみ	千葉大学大学院園芸学研究科教授	第二部会員
岸村 顕広	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・九州大学分子システム科学センター准教授	連携会員
北村 友人	東京大学大学院教育学研究科准教授	連携会員
栗山 浩一	京都大学大学院農学研究科教授	連携会員
阪 智香	関西学院大学商学部教授	連携会員
西谷 公孝	神戸大学経済経営研究所教授	連携会員
村上 暁信	筑波大学システム情報系教授	連携会員

令和 2 年 12 月 24 日

日本学術会議会長 殿

課題別委員会設置提案書

日本学術会議が、科学に関する重要事項、緊急的な対処を必要とする課題について審議する必要があるため、日本学術会議の運営に関する内規第 11 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり課題別委員会の設置を提案します。

記

1. 提案者 菱田公一（副会長）
2. 委員会名 自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会
3. 設置期間 幹事会承認日から令和 5 年 9 月 30 日

4. 課題の内容

(1) 課題の概要

近年、完全自動運転車の実現に向けた研究開発や公道実験が盛んにおこなわれている。①交通事故大幅削減、②渋滞緩和、③環境負荷低減、④高齢者の移動支援、⑤労働力不足への対応、⑥新たなビジネスチャンスの創出、といった社会的課題の解決や変革をもたらすであろうことが期待されるからである。現状では法整備に伴い高速道路渋滞時など一定の条件下において公道走行が可能となるレベル 3 の市場導入の具体化が進み始めたところであり、それ以外で現に市場投入されている車両は、レベル 2 と呼ばれる運転者が主体の運転支援システムとも呼べるものである。

しかし、システムの過信が原因とみられるような死亡事故が発生しており、運転支援システムから部分的な自動運転、さらには完全自動運転まで様々な車両が開発されていくことに対し、自動車ユーザーのみならず交通参加者すべてが車の機能を正しく理解することが重要である。

また自動運転車の進化については「官民 ITS 構想・ロードマップ」等で示されているが、運転者のみならず社会としてどのように受け止めていくべきかについては、まだ十分な議論がなく、事故時の責任問題、非自動運転車との混在下での車両間のコミュニケーション、歩車間のコミュニケーションなど、検討すべき課題も多い。さらに、将来的に完全自動化が進んでいくとして、そのゴールをどのように描くか、またそれに向けた体制をどうするか、という課題についての議論もまだまだこれからである。一方で、交通事故等の自動車交通の引き起こす負の側面はまだまだ解決せず、高齢化が進むことでより一層深刻になる面も想定される中、自動運転に対する過度とも言える期待や誤解が散見される。

このような中、日本学術会議では第 23 期において、第三部が中心になって、提言「自動運転のあるべき将来に向けて ― 学術界から見た現状理解 ―」を 2017 年 6 月に公表し、自動運転についての正しい理解を促した。

この提言の中で取り上げたとおり、技術的な課題ばかりでなく社会的な課題が多く未解決のままであり、自動運転がもたらす未来社会のモビリティのあり方について、基礎から出口までを見据えた長期的な視点に立って検討する場が必要である。このような問題意識から、第 24 期の日本学術会議の課題別委員会として「自動車の自動運転の推進と社会的課題に関する委員会」を設け、第一部、第二部の専門家を交えた委員構成により、課題解決に向けて多角的な視点から議論を行った。その結果、2020 年 8 月に提言「自動運転の社会的課題について ― 新たなモビリティによる社会のデザイン ―」を公表した。その提言の骨子は以下のように 4 項目にまとめた。

- (1) 将来社会のグランドデザインにおける自動運転・モビリティの役割
- (2) 人文社会科学的な価値観・倫理観に配慮した人間中心のデザインと社会実装
- (3) 実証データの整備とエビデンスに基づく持続的な開発
- (4) 産学官連携の国家的プロジェクトによる人材育成と研究開発

この提言の社会への発信については、ホームページで公開するとともに、令和元年 11 月にパリ UNESCO 本部で開催された UNESCO International Basic Science Programme & Experts Forum や、第 2 期 SIP 自動運転(システムとサービスの拡張)の推進委員会(令和 2 年 9 月)等で説明を行った。さらに自動車技術会誌(発行部数 55,000)に提言紹介記事(令和 2 年 12 月)を執筆しており、一般に周知するとともに研究開発の議論の方向性に一定の影響を与えることができたものと思われる。

(2) 審議の必要性

第 24 期の課題別委員会としては、第三部の理工学の専門家、第一部の人文社会科学、法学などの専門家、第二部の看護学、脳神経科学などの専門家に参加いただき、広く社会と自動運転とのかかわりを審議してきたが、文理融合の議論の深堀には至らず、課題の洗い出しと問題点の共有化ができた段階に留まっている。特に、人文社会科学的な価値観・倫理観に配慮し、モビリティの進化を包含した社会デザインについては更なる審議が必要である。

さらに、今春から始まった新型コロナウイルス感染症の流行により、人々の移動や社会生活が大きく制限され、モノの流れも含めて大きな社会変容の影響を受けており、モビリティの再設計・グランドデザインの再検討を余儀なくされている。

また、研究開発の第一線で活躍している若手研究者や地方の専門家に加わっていただく小委員会も設置し、自動運転・新モビリティを社会実装していく上での様々な課題について課題を抽出し、課題別委員会においてはその課題とともに社会制度を含めた幅広い議論を行う必要がある。

(3) 日本学術会議が過去に行っている検討や報告等の有無

- ・第 20 期提言「交通事故ゼロの社会を目指して」(平成 20 年 6 月 26 日、総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会、

事故死傷者ゼロを目指すための科学的アプローチ検討小委員会)を発出した。

- ・第21期、第22期において、同分科会・小委員会において提言後の情報収集や課題について議論し、「記録」として保存している。
- ・第23期提言「自動運転のあるべき将来に向けてー学术界から見た現状理解ー」(平成29年6月27日、総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会、車の自動運転検討小委員会)を発出した。
- ・第24期課題別委員会で、第一部、第二部、第三部にわたる委員構成により文理融合の議論を行い、1回のサイエンス・カフェと1回の学術フォーラムを実施し、2回の「学術の動向」の特集号を企画した。
- ・第24期提言「自動運転の社会的課題についてー新たなモビリティによる社会のデザインー」(令和2年8月4日)を発出した。

(4) 政府機関等国内の諸機関、国際機関、他国アカデミーの関連する報告等の有無

- ・内閣官房

「世界最先端 IT 国家創造宣言」(平成25年6月14日)

「官民 ITS 構想・ロードマップ」(平成26年6月3日) ※以降毎年改定する形で策定
令和2年7月には「官民 ITS 構想・ロードマップ2020」を策定し、自動運転に関する詳細な開発計画・ロードマップを記載している。

- ・内閣府総合科学技術・イノベーション会議

「戦略的イノベーション創造プログラム」(以下「SIP」)において研究開発計画「自動走行システム」を実施(平成26年度～30年度)

第2期SIPにおいて研究開発計画「自動運転(システムとサービスの拡張)」を実施(平成30年度～令和4年度終了予定)

- ・2020年度(令和2年度)は、現在の科学技術基本計画、交通安全基本計画および総合物流施策大綱の最終年度でもあり、次期への議論がまさに始まっている。このような中で、新型コロナウイルス感染症の流行による影響で大きな社会変容が起きており、次年度に向けて人の流れとモノの流れに加え、コロナ後のモビリティについて総合的な議論が必要となっている。
- ・委員会では、これらの動きと連動しながら、長期的な視点から社会とのかかわりを分野横断的に継続的に審議する。

(5) 各府省等からの審議依頼の有無

- ・特に無し

5. 審議の進め方

(1) 課題検討への主体的参加者

- ・多くの分野の専門家が必要である。自動運転の推進と社会に係わる研究には、文理のすべてにわたる研究者が必要であり、第一部から第三部の各分野からの専門家を含め、分野横断的な議論ができる委員会構成を継続する。
- ・また、小委員会を設置して、会員・連携会員ではない若手研究者や地域の社会実装に

関わっている研究者にも参加していただき、現場からの課題の抽出や問題提起の場としたい。

(2) 必要な専門分野及び構成委員数

多くの専門分野から選出する会員・連携会員（計25名以内）および、社会のステークホルダーを代表する特任連携会員（5名以内）。小委員会は二十数名以内の若手委員を中心に構成。

(3) 中間目標を含む完了に至るスケジュール

- ・自動運転の社会に及ぼす影響は計り知れないものがあるため、内閣官房において策定している「官民 ITS 構想・ロードマップ」や、第2期 SIP「自動運転（システムとサービスの拡張）」の短期的な開発計画に対して、超学際的な連携を視野に入れて、長期的な視点から社会とのかかわりを分野横断的に継続的に審議する必要があると考えられる。
- ・特に国家プロジェクトである第2期 SIP「自動運転（システムとサービスの拡張）」は5年間の有期であり、本委員会では2022年以降を見据えた長期的な展望について審議する予定である。したがって国内外の同種の開発計画の進捗状況に応じて、学際および超学際の内容を変えていく必要がある。毎年の委員会で、ワークショップやシンポジウムを開催しながら、委員会の具体的な目標や構成などの検討を行う予定である。

6. その他課題に関する参考情報

本委員会では、「工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会」をはじめとする日本学術会議内の関連委員会や活動とも、密接に連携した活動も予定している。

自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会

設置要綱(案)

〔 令和〇年〇月〇日
日本学術会議第〇回幹事会決定 〕

(設置)

第1 日本学術会議会則第16条第1項に基づく課題別委員会として、自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(職務)

第2 委員会は、内閣官房や内閣府等の政府機関における動きや、日本学術会議協力学術研究団体を含めた国内外の学術団体や研究グループの動きと連動しながら、長期的な視点から社会的課題を対象として幅広く社会と自動運転とのかかわりを分野横断的に審議する。

(組織)

第3 委員会は、30名以内の会員又は連携会員をもって組織する。

(設置期限)

第4 委員会は、令和5年9月30日まで置かれるものとする。

(庶務)

第5 委員会の庶務は、事務局各課・参事官の協力を得て、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。

(雑則)

第6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

【課題別委員会】

○委員の決定（新規1件）

（自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会）

氏名	所属・職名	備考
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
大倉 典子	芝浦工業大学名誉教授・SIT 総合研究所特任教授、中央 大学大学院理工学研究科客員教授	第三部会員
宮崎 恵子	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術 安全研究所国際連携センター副センター長	第三部会員
家田 仁	政策研究大学院大学教授	連携会員
遠藤 薫	学習院大学法学部政治学科教授	連携会員
太田喜久子	日本赤十字看護大学さいたま看護学部特任教授	連携会員
鎌田 実	一般財団法人日本自動車研究所代表理事・研究所長	連携会員
唐沢かおり	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
西條 辰義	高知工科大学フューチャー・デザイン研究所所長、総合 地球環境学研究所特任教授	連携会員
柴山 悦哉	東京大学教授	連携会員
澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授	連携会員
鈴木 真二	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授	連携会員

鈴木 秀美	慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授	連携会員
須田 義大	東京大学生産技術研究所教授	連携会員
永井 正夫	東京農工大学名誉教授、一般財団法人日本自動車研究所顧問	連携会員
野口 和彦	横浜国立大学 I A S リスク共生社会創造センター客員教授	連携会員
藤井 幸彦	新潟大学脳研究所脳神経外科学分野教授	連携会員
松岡 猛	宇都宮大学地域再生推進機構宇大アカデミー非常勤講師	連携会員
水野 毅	埼玉大学大学院理工学研究科教授	連携会員
向殿 政男	明治大学顧問、名誉教授	連携会員
和田 真一	立命館大学大学院法務研究科教授	連携会員
渡辺美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事・ダイバーシティ推進室室長	連携会員

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：学術の未来を担う人材育成分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	大学院において専門教育を受けた人材が、学术界やその他業界において十分に活躍できない状態にあることは、国費を含む教育コストの無益化である。また、学術を担うのは人であり、学术界人口の減少は、学問分野の多様性の毀損に繋がる。本分科会では、高等教育が担う教養教育・専門教育の社会的価値を多角的に評価するための調査・議論を進める。また、大学院生が効果的な教育を受け研究に専心できる環境を構築するための調査・議論を進める。これら以外にも、大学院生を含む若手研究者のおかれる精神的・経済的な環境に対して支援する枠組みのあり方について検討をおこなう。
4	審議事項	1. 教養教育・専門教育の社会的価値に関する多角的な評価 2. 若手研究者のおかれる精神的・経済的な環境への支援
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※24期若手アカデミー分科会「若手による学術の未来検討分科会」における議論の中で認知された課題について、焦点を絞った議論をするために25期に新規設置された分科会である。

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：学術界の業界体質改善分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	研究時間の減少とそれ以外の業務の増加が指摘されるなか、研究に集中できる環境の整備とライフ・ワーク・バランスの推進は、若手研究者および学術界全体にとって重要な課題である。そのなかで、学会活動の時間的・経済的負担や、その他の慣例的な業務負担など、研究者自身の手によって変えることができる部分も少なからず存在する。そこで、学術界の様々な「業界体質」を可視化し、その改善に向けた調査・議論を進めることを目的として、本分科会を設置する。
4	審議事項	1. 学術界のライフ・ワーク・バランスの推進 2. 学会活動の時間的・経済的負担の軽減
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※24期若手アカデミー分科会「若手による学術の未来検討分科会」における議論の中で認知された課題について、焦点を絞った議論をするために25期に新規設置された分科会である。

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：越境する若手科学者分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議の職務の一つは、科学に関する研究の連絡を図り、その能率を向上させることである(日本学術会議法第三条二)。幅広い専門分野を持つ若手科学者間の研究の連絡を図ることで、既存の発想にとらわれない科学分野間の融合により革新的な研究の展開が起こりうる新規領域や、そうした研究を成功に導くための方法論、新しいテクノロジー・メディア・アートとの連携などによる学術的成果の新規表現法等について、実践を含めた調査・議論を行うことを目的として、本分科会を設置する。
4	審議事項	1. 科学分野間の融合に関する調査・議論 2. 新たな学術的成果の表現方法に関する調査・議論
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※24期若手アカデミーでの議論に基づき、関係する若手科学者の多様性やネットワークを活用し、さらなる学術研究の発展のために新規設置された分科会である。24期若手アカデミーの「若手による学術の未来検討分科会」の一部の審議内容と「若手科学者ネットワーク分科会」の審議内容を発展的に統合させたものに相当する。

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：国際分科会

1	所属委員会名	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	地球社会において、日本の学術はどのような役割を果たすべきか。また他国における学術の状況と比較してわが国の学術をどのように進めていくべきか。これらを、今後20年以上にわたってわが国の学術を牽引すべき若手科学者の立場から考え、また世界各国に次々設立されている若手研究者を主たる構成員とする学術組織である若手アカデミーとの連携によって実践していくために、本分科会を設置する。本分科会では、既に関係の深い国際的若手学術組織であるグローバルヤングアカデミーへの参画を通じ、他国の若手アカデミーとの交流を深め、また我が国との交流連携を深めるための催しを考案開催する。分科会は世界規模の問題を解決するために行動し、この目的のため、他国のアカデミーと共同して国際的発信を行う。
4	審議事項	1. 日本の学術が地球社会において果たすべき役割と、そのあるべき役割に照らした国内での活動指針 2. 若手アカデミーの国際的活動の推進および若手アカデミーにおける国際的活動関連の連絡調整 3. その他、若手アカデミーの国際的活動に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：地域活性化に向けた社会連携分科会

1	所属委員会名	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	パンデミックや巨大災害のリスクに直面し、国内外の社会経済状況が大きく変化する中、科学と地域社会との関係性が問い直されている。社会課題の解決に科学の知識や手法が有効であるだけでなく、科学する場としての地域社会、科学への市民の参加が見直されている。地域社会における科学者の役割を幅広く検討し、多様な主体との対話を重ねることで、科学と地域社会の持続的な関係性を再定義し、実現方策を検討する。
4	審議事項	1. 地域社会における科学者の役割の可視化と評価に関する事項 2. 地域活性化に資する公共・民間・学術の連携事項 3. 地方での発展的な研究活動に関する事項
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※24期若手アカデミー「イノベーションに向けた社会連携分科会」を母体としているが、「地域」に焦点を絞って審議するために別途新規設置された分科会である。

若手アカデミー分科会の設置について

分科会名：イノベーションに向けた社会連携分科会

1	所属委員会名	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	科学技術イノベーションをめぐる大変革時代が到来する中、学術は社会との連携を深めながら広い視野を持つことが求められている。この分科会では、社会への広報活動ならびに学術・行政・産業・NPOなどの関係者との交流活動を通じて、若手科学者による社会連携の推進を目指し、社会連携のあり方や科学技術イノベーションの社会実装など、学術と社会の関係について検討する。また、24期提言「シチズンサイエンスを推進する社会システムの構築を目指して」をベースに、シチズンサイエンス推進に関わる発展的活動を実施する。
4	審議事項	科学技術イノベーションにおける学術と社会の関係についての課題および、その解決策の審議に関すること。
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

若手アカデミー分科会の設置について

分科会等名：G Y A 総会国内組織分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	若手アカデミー
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	今後20年以上にわたってわが国の学術を牽引するべき若手科学者で構成される若手アカデミーメンバーが、世界各国から選抜された200名の若手科学者で構成される国際的若手学術組織であるグローバルヤングアカデミーと共に、科学技術の未来や世界規模の社会課題の解決を考えるGYA総会兼学会を日本で開催するにあたり、本分科会を設置する。本分科会ではGYA共同代表、執行役員およびメンバーで構成される企画組織委員会と連携し、企画内容および登壇者の提案や国内的な準備を行い、かつ若手アカデミー以外の若手研究者や若手以外の研究者、行政官、産業界、一般市民も参加できる議論の場を設定できるよう連絡調整を行う。
4	審議事項	1. 日本の学術が地球社会において果たすべき役割と、そのあるべき役割に照らしたGYA総会の企画運営 2. GYA総会開催関連の連絡調整 3. その他、GYA総会の開催に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年12月24日～令和4年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続

【若手アカデミー】

○委員の決定（新規7件）

（学術の未来を担う人材育成分科会）

氏名	所属・職名	備考
今田 晋亮	名古屋大学宇宙地球環境研究所総合解析研究部講師	連携会員
岩永 理恵	日本女子大学人間社会学部社会福祉学科准教授	連携会員
遠藤 求	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究領域教授	連携会員
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究員	連携会員
坂井 南美	国立研究開発法人理化学研究所主任研究員	連携会員
實藤和佳子	九州大学大学院人間環境学研究院准教授	連携会員
武田 宙也	京都大学大学院人間・環境学研究科准教授	連携会員
土屋 太祐	新潟大学経済科学部准教授	連携会員
松中 学	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
森 章	横浜国立大学環境情報研究院准教授	連携会員
谷内江 望	東京大学先端科学技術研究センター合成生物学分野客員准教授	連携会員

（学術界の業界体質改善分科会）

氏名	所属・職名	備考
岩永 理恵	日本女子大学人間社会学部社会福祉学科准教授	連携会員
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究員	連携会員
松中 学	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
吉永 直子	京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻助教	連携会員

（越境する若手科学者分科会）

氏名	所属・職名	備考
石川 麻乃	大学共同利用機関法人情報・システム研究	連携会員

	機構国立遺伝学研究所ゲノム・進化研究系 助教	
今田 晋亮	名古屋大学宇宙地球環境研究所総合解析研 究部講師	連携会員
岩崎 涉	東京大学大学院理学系研究科准教授	連携会員
遠藤 良輔	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科講 師	連携会員
小野 悠	豊橋技術科学大学大学院工学研究科講師	連携会員
岸村 顕広	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・ 九州大学分子システム科学センター准教授	連携会員
坂井 南美	国立研究開発法人理化学研究所主任研究員	連携会員
笹倉 香奈	甲南大学法学部教授	連携会員
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授	連携会員
相馬 雅代	北海道大学理学研究院生物科学部門准教授	連携会員
田井 明	九州大学大学院工学研究院環境社会部門准 教授	連携会員
富永依里子	広島大学大学院先進理工系科学研究科講師	連携会員
中島裕美子	国立研究開発法人産業技術総合研究所研究 チーム長	連携会員
前川 知樹	新潟大学医歯学総合研究科高度口腔機能教 育研究センター研究准教授	連携会員
南澤 孝太	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究 科教授	連携会員
森 章	横浜国立大学環境情報研究院准教授	連携会員
安田 仁奈	宮崎大学農学部准教授	連携会員

(国際分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
入江 直樹	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 准教授	連携会員
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授	連携会員
相馬 雅代	北海道大学理学研究院生物科学部門准教授	連携会員
竹村 仁美	一橋大学大学院法学研究科准教授	連携会員

富永依里子	広島大学大学院先進理工系科学研究科講師	連携会員
中西 和嘉	国立研究開発法人物質・材料研究機構機能性材料研究拠点・分子機能化学グループ主任研究員	連携会員
西嶋 一欽	京都大学防災研究所准教授	連携会員
松中 学	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
安田 仁奈	宮崎大学農学部准教授	連携会員

(地域活性化に向けた社会連携分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小野 悠	豊橋技術科学大学大学院工学研究科講師	連携会員
笠井 久会	北海道大学大学院水産科学研究院准教授	連携会員
加藤 千尋	弘前大学農学生命科学部助教	連携会員
岸村 顕広	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・九州大学分子システム科学センター准教授	連携会員
近藤 康久	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所准教授	連携会員
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授	連携会員
田井 明	九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授	連携会員
高田 知実	神戸大学大学院経営学研究科准教授	連携会員
高槻 泰郎	神戸大学経済経営研究所准教授	連携会員
前川 知樹	新潟大学医歯学総合研究科高度口腔機能教育研究センター研究准教授	連携会員
山田あすか	東京電機大学未来科学部建築学科教授	連携会員

(イノベーションに向けた社会連携分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
岩村 誠	日本電信電話株式会社特別研究員	連携会員
上村想太郎	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
遠藤 良輔	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科講師	連携会員

小森 大輔	東北大学大学院環境科学研究科准教授	連携会員
高瀬 堅吉	自治医科大学大学院医学研究科教授	連携会員
遠野 雅徳	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構上級研究員	連携会員
松中 学	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
南澤 孝太	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授	連携会員
山川みやえ	大阪大学大学院医学系研究科統合保健看護科学分野老年看護学准教授	連携会員

(GYA 総会国内組織分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
入江 直樹	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻准教授	連携会員
岩崎 渉	東京大学大学院理学系研究科准教授	連携会員
小野 悠	豊橋技術科学大学大学院工学研究科講師	連携会員
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構研究員	連携会員
岸村 顕広	九州大学大学院工学研究院応用化学部門・九州大学分子システム科学センター准教授	連携会員
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授	連携会員
高瀬 堅吉	自治医科大学大学院医学研究科教授	連携会員
竹村 仁美	一橋大学大学院法学研究科准教授	連携会員
中西 和嘉	国立研究開発法人物質・材料研究機構機能性材料研究拠点・分子機能化学グループ主任研究員	連携会員
西嶋 一欽	京都大学防災研究所准教授	連携会員
松中 学	名古屋大学大学院法学研究科教授	連携会員
安田 仁奈	宮崎大学農学部准教授	連携会員

地区会議の構成員の変更について

氏名	勤務地等が所在する地区会議	所属を希望する地区会議	備考
水野 紀子	関東地区	東北地区	第一部会員

現職名：白鷗大学法学部教授

変更理由：前職が東北大学教授であることから東北地区に所属し、地区会議活動を行っていた。現在の勤務地は白鷗大学（栃木県）であるが、住所は仙台市であることもあり、東北地区の活動に引き続き協力したいため。

適用日：令和2年4月1日

●会員・連携会員の所属地区の変更に係る運用について

〔平成 25 年 10 月 25 日〕
第 34 回科学者委員会決定

- 日本学術会議地区会議運営要綱(平成 17 年 10 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定)
(各地区の構成員)

第 5 (前略)各地区の構成員は、原則として当該地区に勤務地 (勤務地がない場合は居住地) を有する会員及び連携会員とする。

ただし、会員又は連携会員は、申し出により、科学者委員会及び幹事会の議を経て、所属地区を変更することができる。

1. 現状の運用

会員及び連携会員(以下、「会員等」という。)から、勤務地又は居住地が変更された旨連絡を受けた場合、所属地区変更の意思確認を行った上で、科学者委員会の議を経て、幹事会に変更を提案し、決定してもらっている。

当該運用は、上記規定が運営要綱に盛り込まれ施行された平成 19 年 10 月以降、当初から採られていたものである。

※ 当該改正以前の「構成員」については、各部が当該地区に勤務又は居住する会員 3 名を選出することを原則としていた。

2. 問題点

規定をそのまま読めば、勤務地が A 地区から B 地区に変更になった場合、自動的に B 地区の地区会議構成員となるはずのところ、現状の運用では、

- 本人の変更の意向が確認できた場合には、A 地区から B 地区への所属地区変更をすべて科学者委員会及び幹事会に諮っており、本来必要のない手続を踏んでいる。
- 本人の変更の意向が確認できず、所属地区が元の所属地区 (A 地区) のまま になってしまっている例がある。

3. 新たな運用

運営要綱上、勤務地 (及び居住地) が変更になれば自動的に所属地区会議が変更になるという大前提に立ち返り、以下のとおり扱うこととする。

- ① 会員等に勤務地等の変更があった場合、企画課から会員等に、自動的に所属地区が移ることを連絡する。
- ② 所属地区変更を企画課において記録するとともに、各地区会議事務局に連絡する。
- ③ 会員等から、勤務地等が所在しない地区を所属地区としたいという意向が示された場合、企画課は、理由を付した上での申出を促し、申出を受けて科学者委員会及び幹事会における議論に供する。
- ④ 会員等からの申出に相当の理由がある場合、科学者委員会及び幹事会の議を経て所属地区を変更する。
- ⑤ 科学者委員会及び幹事会は、会員等からの申出に相当の理由がないと判断した場合、所属地区の変更を認めず、科学者委員会委員長は、申出をした者に所属地区を勤務地等と違わないよう懲慫する。

令和2年度代表派遣実施計画の追加・変更及び派遣者の決定について

以下のとおり、令和2年度代表派遣実施計画の追加・変更及び派遣者の決定を行う。

	会議名称	会 期	開催地 (国)	派遣候補者 (職名)	内 容
1	アジア科学アカデミー・科学協会 連合(AASSA)理事会	8月頃 ↓ 10月27日	ソナム (韓国)	吉野 博 連携会員 (東北大学名誉教授、秋田県立大学客員教 授、前橋工科大学客員教授)	・派遣者の決定 ※実施計画については第287回幹事 会(令和2年2月27日)にて承認済み。 ※急遽オンライン形式での開催が決定し たため会期後の承認をお願いするもの
2	IAP Policy Board Meeting	11月18日	ワシントン (アメリカ)	高村 ゆかり 第一部会員 (東京大学未来ビジョン研究センター教授)	・代表派遣実施計画の追加 ・派遣者の決定 ※急遽オンライン形式での開催が決定し たため会期後の承認をお願いするもの
3	G7 Research Summit	11月25日	トロント (カナダ)	村山 泰啓 連携会員 (国立研究開発法人情報通信研究機構ソー シャルイノベーションユニット戦略的プログラ ムオフィス研究統括)	・代表派遣の取りやめ ※主催者により会議内容が変更された ため
4	第14回国際人権ネットワーク隔 年総会	12月8日～ 12月9日	プレトリア (南アフリカ)	未 定	・代表派遣の取りやめ ※新型コロナウイルスの影響により今年 度の開催なし(来年度に延期)
5	ISC 科学における自由と責任の委 員会(CFRS)	未定 ↓ 12月16日	パリ (フランス)	白波瀬 佐和子 第一部会員 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)	・派遣者の決定 ※実施計画については第287回幹事 会(令和2年2月27日)にて承認済み。 ※急遽オンライン形式での開催が決定し たため会期後の承認をお願いするもの
6	第76回国際地質科学連合 (IUGS)理事会及び事務局会 議、執行理事会	1月25日～ 1月29日 ↓ 2月8日～ 2月12日	パリ (フランス)	北里 洋 特任連携会員 (国立大学法人東京海洋大学特任教授)	・派遣者の決定 ・会期の変更 ※実施計画については第287回幹事 会(令和2年2月27日)にて承認済み。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により オンライン形式に変更

	会議名称	会 期	開催地 (国)	派遣候補者 (職名)	内 容
7	IAP Policy Board Meeting	2 月頃	ワシントン (アメリカ)	高村 ゆかり 第一部会員 (東京大学未来ビジョン研究センター教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・代表派遣実施計画の追加 ・派遣者の決定 ※オンライン形式で開催

日本学術会議主催フォーラム

「新たな地球観への挑戦—地球惑星科学の国際学術組織の活動と日本の貢献—」
の開催について（案）

1. 主 催：日本学術会議
2. 日 時：令和3年2月15日（月）13:00-17:30
3. 場 所：日本学術会議講堂ならびにオンライン
4. 分科会等の開催：なし

5. 開催趣旨：

日本学術会議は、国際学術会議（ISC）に加盟する国際的な学術連合や国際的な科学委員会を通して国際的な学術活動を行っています。なかでも、地球惑星科学は数多くの国際的な学術連合や国際科学委員会があり、それぞれの分野で新たな地球観、生命観を創造し、持続可能な社会への挑戦に向けて学術的な発展にむけて活動を行うと同時に、その研究成果を社会に向けて発信し、若手研究者の育成に大きく貢献してきています。この学術フォーラムを通して国際的な学術組織への日本の地球惑星科学者が果たしてきた役割を可視化し、将来への展望をしたいと考えています。

6. 次 第：

総合司会 原田尚美（日本学術会議連携会員 国立研究開発法人海洋研究開発機構センター長）

13:00-13:05 副会長挨拶

高村ゆかり（日本学術会議副会長、第一部会員、東京大学未来ビジョンセンター教授）

13:05-13:10 第三部長挨拶

吉村忍（日本学術会議第三部会員、第三部長、東京大学副学長・教授）

13:10-13:15 地球惑星科学委員会委員長の開会の挨拶

田近英一（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

13:15-13:20 趣旨説明

春山成子（日本学術会議第三部会員 三重大学名誉教授）

13:20-13:35 地図という情報コミュニケーション基盤を考える—ICA（国際地図学協会）の活動報告と日本の貢献—

森田喬（日本学術会議連携会員、法政大学名誉教授）

- 13:35-13:50 持続可能な社会への挑戦—IGU (国際地理学連合) の活動報告と日本の貢献—
氷見山幸夫 (日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授)
- 13:50-14:05 人類の来た道と進む道の自然環境の変動をひもとく—INQUA (国際第四紀学連合) の活動報告および日本の貢献—
奥村晃史 (日本学術会議連携会員、広島大学大学院人間社会科学研究科教授)
- 14:05-14:20 鉱物が語る自然・環境・社会—IMA (国際鉱物学連合) の活動報告および日本の貢献—
大谷栄治 (日本学術会議連携会員、東北大学名誉教授)
- 14:20-14:35 地球の観測やモデルの標準化—IUGG (国際測地学及び地球物理学連合) の活動報告および日本の貢献—
佐竹健治 (日本学術会議第三部会員、東京大学地震研究所所長)
- 休憩 14:35-14:45—
- 14:45-15:00 チバニアンの背景—IUGS (国際地質科学連合) の活動報告および日本の貢献—
北里 洋 (東京海洋大学特任教授)
- 15:00-15:15 海洋の仕組みと変動を理解する—SCOR (海洋研究科学委員会) の活動と日本の貢献—
升本順夫 (東京大学大学院理学系研究科教授)
- 15:15-15:30 気候変動を明らかにする—WCRP (世界気候研究計画) の活動と日本の貢献—
三枝信子 (日本学術会第三部会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター長)
- 15:30-15:45 宇宙開発の新展開と国際ルール—COSPAR (宇宙空間研究委員会) の活動と日本の貢献—
藤本正樹 (国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙 科学研究所副所長・教授)
- 15:45-16:00 太陽活動変動が地球環境を変えるか?—SCOSTEP (太陽地球系物理学・科学委員会) の活動と日本の貢献—
塩川和夫 (名古屋大学宇宙地球環境研究所副所長・教授)
- 16:00-16:15 巨大な氷の大陸から地球を観る—SCAR (南極研究科学委員会) の活動と日本の貢献—
中村卓司 (日本学術会議第三部会員、情報・システム研究機構国立極地研究所長)
- 16:15-16:30 北極の急速な環境変化を探り、新しい社会を考える—IASC (国際北

極科学委員会)の活動と日本の貢献—

榎本浩之(情報・システム研究機構国立極地研究所副所長・教授)

—休憩 16:30-16:40—

16:40-17:10 総合討論

司会

西 弘嗣(日本学術会議第三部会員、福井県立大学恐竜研究所所長)

国際貢献についての重要性についてのパネルディスカッション(パネラーは上記の講演者全員)

17:10-17:20 まとめ

佐竹健治 (日本学術会議第三部会員、東京大学地震研究所所長)

17:20-17:25 閉会の挨拶

西 弘嗣(日本学術会議第三部会員、福井県立大学恐竜研究所所長)

17:25 閉会

(下線の講演者は、日本学術会議関係者)

4. 学術フォーラム及び土日祝日に講堂を使用するシンポジウム等 【令和2年度第4四半期】追加分

<概要>

1. 日本学術会議主催学術フォーラム

- (1) 経費負担を要するものは、原則として年間10回程度
- (2) 経費負担又は職員の人的支援を要するものは、四半期ごとに計3件まで
- (3) 土日祝日開催のものは、四半期ごとに2件まで

○今回提案【令和2年度第3四半期】 全1件

	提案番号	テーマ	開催希望日時	開催場所	経費負担	職員の 人的支援
1	提案10	新たな地球観への挑戦—地球惑星科学の国際学術組織の活動と日本の貢献—	2月15日 (月) 13:00- 17:30	講堂・オンライン	要	要

(参考)

■今回提案を含めた合計数

1. 学術フォーラム (平日6件/土日4件) 全11件

(内訳) ※現在の11件中、11件は経費又は人的負担要

		第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
学術フォーラム	(土日)	2	1	1	0
	(平日)	2	1	2	2
合計		4	2	3	2

公開シンポジウム「メディア学の使命」の開催について

1. 主 催：日本学術会議社会学委員会
2. 共 催：社会学系コンソーシアム
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和3年1月23日（土）13：30～16：30
5. 場 所：オンライン開催
6. 分科会等の開催： 開催なし

7. 開催趣旨：

1990年代以降、インターネット革命は社会を大きく変えてきた。インターネットを通じた新しいメディアは、いまだかつてない規模で、私たちの生活に入り込み、社会意識を変え、政治を左右している。このような現在の状況は、この媒介過程としてのメディアを実証的、批判的、理論的、歴史的に探究していく統合的な知を強く求めるものといえよう。このような社会の側からの期待にも応えるため、本シンポジウムでは、コミュニケーション、情報、メディアについての専門家、ならびに当事者となるジャーナリストが登壇し、「フェイク」「データ」「権利」「ネットワーク」などをめぐる問いを考えていくことで、ジャーナリズム研究やプラットフォーム研究まで視野に収めつつ、メディア学の使命について検討していく。

8. 次 第：

開会の挨拶	<u>白波瀬佐和子（日本学術会議会員、東京大学）</u> 浦野正樹（社会学系コンソーシアム理事長、早稲田大学）
趣旨説明	吉見俊哉（東京大学）
報告	「メディア学とジャーナリズムの未来」金平茂紀（ジャーナリスト） 「メディア学とコミュニケーション研究の未来」辻大介（大阪大学） 「インターネット時代におけるメディア学」吉田純（京都大学） 「メディア学とオープンデータの間」庄司昌彦（武蔵大学）
討論	石田佐恵子（大阪市立大学） 伊藤守（早稲田大学）
司会	吉見俊哉（東京大学） 音好宏（上智大学）
閉会の挨拶	<u>有田伸（日本学術会議会員、東京大学）</u>

9. 関係部の承認の有無：第一部の承認有

（下線の講演者等は、主催委員会委員）

公開シンポジウム

「胎児期からの脳発達：発達保育実践政策学の追究」の開催について

1. 主 催：日本学術会議心理学・教育学委員会
2. 共 催：東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和3年2月8日（月）14：00～16：00
5. 場 所：オンライン開催
6. 分科会等の開催：開催予定なし
7. 開催趣旨：世界規模で、就学前の子どもに対するケアや幼児教育のあり方が問い直されてきている。こうした動向の中、日本学術会議第22期大型研究計画に関するマスタープランにおいて教育学分野から申請された「乳児発達保育実践政策学研究教育推進拠点の形成」にもとづき、研究拠点の整備が進み、乳幼児の行動認知と脳機能、保育の実態、保育政策等、多様な視座からの研究が進展している。近年さらに、生涯にわたる健康、疾病、教育等の問題において、人生の最初期である胎児期・新生児期の発達を理解することの重要性が注目されつつある。本公開シンポジウムでは、「胎児期からの脳発達」をテーマとし、医学・生物学分野で研究が進んでいる胎児期からの脳発達に焦点を当て、大脳皮質の発生・発達のプロセスや、早期環境が脳や認知機能の発達に与える影響について議論する。

第1部の講演では、丸山千秋氏（医学総合研究所）が、分子神経生物学の見地から、城所博之氏（名古屋大学）が、小児神経学の見地から、脳の発達に関する話題提供を行う。特に、胎児期の脳で一時的に増殖し、新生児期に縮退するサブプレートニューロンが、神経回路網の構造と機能の発達において、多様な役割を果たしていることを示す発見が近年なされ、注目を集めている。そうした最新の知見を紹介し、今後の研究を展望する。

第2部のパネルディスカッションでは、両氏に加え、臨床神経心理学が専門の松井三枝氏（金沢大学）、発達脳科学が専門の多賀巖太郎氏（東京大学）が登壇し、脳・認知機能の生涯発達や、その障害についての基礎的・臨床的観点から、多角的に討論する。特に、初期発達を、胎児期の自発的な脳活動を基盤として、環境と相互作用しながら動的に変化していく過程として捉えることで、新たな発達の理論を追究する。学術分野横断的な討論を通して、より良い発達・保育環境に関する考えを深め、当該研究テーマの意義について社会に提案・発信する場としたい。
8. 次 第：

総合司会：

野澤祥子（日本学術会議連携会員・東京大学大学院 教育学研究科 准教授）

14:00 開会

14:00～14:05 企画趣旨説明

遠藤利彦（日本学術会議第一部会員・東京大学大学院 教育学研究科 教授）

14:05～15:15 第1部 講演

話題提供：

丸山千秋（東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクト プロジェクトリーダー）
「大脳新皮質形成の仕組み～細胞分子生物学研究から～」(予定)

城所博之（名古屋大学 医学部附属病院 小児科 助教）

「大脳新皮質形成の仕組み～ヒト早産児研究から～」(予定)

15:15～15:25 休憩

15:25～15:55 第2部 パネルディスカッション

松井三枝（日本学術会議第一部会員・金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 教授）

丸山千秋（東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクト プロジェクトリーダー）

城所博之（名古屋大学 医学部附属病院 小児科 助教）

多賀巖太郎（東京大学 大学院教育学研究科 教授）

15:55～16:00 まとめと閉会挨拶

秋田喜代美（東京大学大学院 教育学研究科 教授）

16:00 閉会

9. 関係部の承認の有無：第一部の承認有

(下線の講演者は、主催委員会委員)